



報告事項

報告事項 1

協議会議長

澤 辰水

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

【一社日 L】 第 4 回理事会議事録（2023/10/11 開催）	P6～10
【一社日 L】 第 5 回理事会議事録（2023/11/15 開催）	P11～16
【一社日 L】 第 6 回理事会議事録（2023/12/06 開催）	P17～21
【一社日 L】 第 2 回社員総会（全国ガバナー会）議事録（2023/12/06 開催）	P22～29

報告事項 2

一財)日本ライオンズフットサル大会中国・四国世話人代表

池原 堅

一般財団法人日本ライオンズ主催第 2 回全国特別支援学校フットサル大会結果報告

11 月 4 日に福岡市にて開催

大会成績について下記の通り報告致します。

各準地区の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

- ・優勝校→栃木県立宇都宮青葉高等学園
- ・準優勝校→奈良県立高等養護学校
- ・第 3 位→神奈川県立日野中央高等特別支援学校
- ・第 4 位→愛知県立名古屋嚨学校
- ・**第 5 位→島根県立松江養護学校乃木校舎**
- ・第 6 位→大分県さくら杜高等支援学校

報告事項 3

GMT・GMA コーディネーター

池原 堅

【MD336】 第 1 回 GAT 長期計画合同委員会議事要録（2023/10/06 開催）	P30～31
【MD336】 第 2 回 GMA・GAT 全体会議議事要録（2023/12/07 開催）	P32～36
MD336 会員移動状況(2023/12/31 時点)	P37

報告事項 4

GMA 世話人

真鍋 隆

会員拡大報告書（12 月末現在）

P38

国際本部集計クラブ数・会員数（12 月末現在）

P39

報告事項 5

GLT コーディネーター

西尾 慎一

336 複合地区第一・第二副地区ガバナー研修会開催

日 時：2023 年 11 月 27 日（月）13：00～17：30
 場 所：岡山シティホテル桑田町 別館 3F 会議室「306」
 講 師：2023-2025 年度 国際理事 濱野 雅司 氏
 内 容：
 ・地区ガバナーオリエンテーション
 ・LCIF について
 ・スピーチ
 ・効果的な聴き方
 ・「奉仕の道のり」情報資料の活用推進
 ・地域別のトピック
 ・次期第一副地区ガバナーに向けて
 質疑応答

報告事項 6

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

- ・1月23日（火）に第4回会則委員会を開催
- 【一社日L】第3回委員会議事録（2023/10/19開催）……………P40～47
- 【一社日L】第4回委員会議事録（2023/11/24開催）……………P48～52
- 【一社日L】第5回委員会議事録（2023/12/11開催）……………P53～56
- 【MD336】第2回委員会議事録（2023/11/22開催）……………P57
- 【MD336】第3回委員会議事録（2023/12/18開催）……………P58

報告事項 7

アラート委員会委員長

西尾 慎一

開催された委員会
MD336 第4回アラート委員会（2024/1/15開催 WEB）
日本ライオンズ第4回アラート全体会議（2024/1/22開催 WEB）
第1回能登半島地震支援対策本部会議 ※4回全体会議と合同

「全国アラートフォーラム in 岡山」について

フォーラム

開催日時：2024年2月3日（土）13：30～16：30
開催場所：岡山市民会館
登録料：2000円 ※一般無料

懇親会

開催時間：17：30～19：30
開催場所：ホテルグランヴィア岡山 4F「フェニックス」
登録料：8000円

申込者数（1/16現在）
フォーラム：約440名
懇親会：約280名

フォーラム終了後、MD336事務局より8MD内35キャビネット事務局宛で
メールにて請求書を送付
登録料振込み締切日：2月29日（木）

登録料振込み先
中国銀行 大供（だいく）支店 普通預金 1503438
ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
会計 山崎 勝彦（やまさき かつひこ）

変更部分

- ・能登半島地震を踏まえ、内容を一部変更
- ・申込み締切日を1月12日（金）⇒ 1月26日（金）へ変更

※変更については1/12にMD事務局より8MD内35キャビネット事務局宛で連絡済

報告事項 8

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長

春木 扶佐子

薬物乱用防止・青少年育成活動・ライオンズクエストワークショップ普及活動について1. 薬物乱用防止教育認定養成講座開催について

A地区

- 1・2R 2024年3月17日開催予定
- 4・5R 2023年11月23日開催 参加者75名

6・7 R 9月30日開催 67名
8・9 R 12月9日開催 25名

B地区 岡山・鳥取合同開催 2023年11月25日 参加者25名
C地区 広島・福山で開催 9月23日・24日 啓発活動もクラブで多数開催
D地区 山口開催 10月21日 参加者 46名 大田市開催 10月22日 参加者 29名
「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」1～7 R で実施

2. 青少年活動について

A-地区 子ども食堂・まるがめ製麺キッチンカー 4会場で開催
B-地区 薬物乱用防止パレード 岡山表町商店街にて6月開催予定
C-地区 福山市神辺町では、子供たちの為の地元の歴史教育や、小中高生を対象にした音楽祭がコロナ明けで開催
D-地区 子ども食堂の実施。青少年野外コンサートで薬物乱用防止のチラシ配布

3. ライオンズクエストメンバー対象の1日ワークショップ開催について

A-地区 3月31日 香川県高松市で開催予定（確定）
B-地区 2月以降開催（準備中）
C-地区 9月20日 福山市 9月21日 広島市 2回開催済
D-地区 6月中旬に開催予定

4. LCIF交付金申請について

A-地区 2024年2月申請（5月審査）
B-地区 未定
C-地区 2023年申請済（2023年7月1日～2025年6月）
D-地区 2024年 早い時期に申請予定

5. 次年度ライオンズクエストワークショップ開催予定

A-地区 高知LC・土佐LC・鳴門LC 新たに高松東LCが夏休みに開催予定（4回）
B-地区 福山私立3校対象の2日間のWSを2024年7月25日・26日で開催予定 コロナ禍以前に開催していた地区でのWS再開に向けた活動を行っている。

今後の予定

- ・A・B・C・Dの準地区委員長を対象に第2回web委員会を2月に開催予定
内容（ライオンズクエスト普及促進・交付金申請についての勉強会）
- ・ライオンズクエスト事業の普及活動（学校対象のワークショップ開催）
ライオンズメンバー対象の1日ワークショップ（基本編）を開催

報告事項 9

YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会委員長

蔵本 守雄

2月24日（土）高知市にて第4回YCE委員会を開催

【一社日L】第2回委員会議事録（2023/10/05開催）.....P59～60
【一社日L】第3回委員会議事録（2023/11/24開催）.....P61～64
【MD336】第3回委員会議事録（2023/12/04開催）.....P65～66
【MD336】国際平和ポスター最終審査会（2023/12/4開催）.....P67

報告事項 10

ライオン誌日本語版委員会委員

上田 隆政

【一社日L】第4回委員会議事録（2023/11/09開催）.....P68～71
【一社日L】第5回委員会議事録（2023/12/08開催）.....P72～77
【一社日L】第6回委員会議事録（2024/01/10開催）.....P78～81

報告事項 11

国際大会委員長（日本ライオンズ国際大会委員会 MD336 担当委員）

徳永 修

MD336 登録状況 1/15 時点

登録パターン	人数
現地参加登録（近ツーオフィシャルツアー申込）	6
現地参加登録(近ツー準オフィシャルツアー申込)※変則日程	18
現地参加登録（自己手配）(近ツーへ登録代行申込) ※要別途@2,200 登録代行手数料	26
現地参加登録（自己手配）	不明
現地参加なし 登録のみ（近ツーへ登録代行申込） ※要別途@2,200 登録代行手数料	不明
現地参加なし 登録のみ（自己手配）	不明
計：	50

【一社日 L】第 3 回委員会議事録（2023/10/10 開催）……………P82～87

【一社日 L】第 4 回委員会議事録（2023/11/29 開催）……………P88～92

第 5 回委員会（2024/01/18 開催 WEB）議事録未着

報告事項 12

SCP・FWT コーディネーター

鵜飼 恵美

12 月度会員増強報告書

336 複合地区会員増強報告(12 月度)……………P93

報告事項 13

LCIF コーディネーター

高岡 英治

能登半島地震災害復興支援ご協力をお願いについて

新年早々に能登半島を中心とした日本海側をマグニチュード 7.6 の地震が襲い、
現在も厳しい被災状況が刻々と報告されています。ガバナー協議会でもいち早く対策を
講じています。

また、各地区ガバナーより各クラブに支援の要請が迅速に発信されています。

※2024 年 1 月 19 日(金) 午前 10 時～11 時 30 分 第 2 回 LCIF 開発会議(ZOOM)を開催予定

※2024 年 1 月 26 日(金) 午後 2 時～午後 5 時 30 分 日本リーダーズ会議開催予定

場所: 名古屋ウインクあいち 1007 会議室

LCIF 寄付一覧表 11 月分……………P94

LCIF 寄付一覧表 12 月分……………P95

報告事項 14

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

田中 秀幸

D 地区委員長 高島 俊司

D 地区 1～3R 献眼研修会

日 時 2023 年 10 月 28 日(土)

会 場 島根県大田市「あすてらす」

主 催 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根（しまねまごころバンク）

講 師 日本角膜移植学会理事

大阪大学医学部眼科学教室 大家義則先生

内 容

・1～3R 内を対象に各クラブ 3 人の出席を求めた

・登録料 3,000 円

・出席者 62 名

- ・公益財団法人日本アイバンク協会が認定する「認定サポーター」講習会として、1～3Rでは初めて開催した。
- ・後日受講者には認定証と認定カードが届けられた。
- ・様々な眼の病気と角膜移植を拠り所とする治療の現状を通して、献眼の重要性和有用性を学んだ。

その他

- ・登録料 3,000 円はキャビネットより全額日本アイバンク協会へ納付された。
- ・会場費、講師旅費、謝礼等は日本アイバンク協会が負担。
- ・会場の準備片付け、受付、飲み物の提供はキャビネットで行った。

D 地区献血研修会

- ・今年度はガバナーより各クラブの例会等での献血研修会を要請した。
- ・12月7日時点で84クラブの内57クラブで実施済または計画中。

2022 年 7 月～12 月献血推進・協力実績（日赤資料） P96

2023 年 7 月～12 月献血推進・協力実績（日赤資料） P97

その他報告事項

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 4 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 10 月 11 日(木)13：30-16：30

場 所：山口県下関市

出席者：

理事長 田名部 智之(八戸)
副理事長 池 原 堅(福山久松)
副理事長 松浦 淳一(岩見沢はまなす)
専務理事 増澤 義治(諏訪湖)

常務理事 田中 雄一(狭山) 【欠席】
常務理事 栗村 安弘(大船渡) 【欠席】
常務理事 星野 勝美(太田)
常務理事 戸祭 宏樹(鯖江王山)
常務理事 中谷 豊重(岸和田)
常務理事 澤 辰 水(下関)
常務理事 新里 正雄(沖縄)

理事 吉本 晴夫(藤沢中央)
理事 須藤 敏幸(伊達)
理事 松本 宰司(南房総)
理事 吉村 弘吉(和歌山)
理事 玉 川 孝(熊本葵)

理事(一般財団法人日本ライオンズ理事長)

注：11/1 より公益財団法人日本ライオンズ理事長

不老 安正 (大宰府)

理事

(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)

村木 秀之 (東京数寄屋橋)

監事 今井 文彦 (東京巣鴨) 【WEB】

監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】

監事 橋本 勝策 (焼津)

監事 岡村 聖爾 (下関)

オブザーバー：

事務局補佐

菅原 孝明(八戸)

法律顧問

池田 和 司(東京桜門) 【欠席】

会計顧問

吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原

3. 参加者ご挨拶

- ・一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正
- ・22-23年度理事長 村木 秀之

4. 本日の議案について：

①学生会員の賛助会費免除について

・増澤専務理事より説明と執行理事会において学生会員の会費免除の見解で一致したことの確認。レオについては今後の検討事項とし、学生会員の賛助会費免除について採決。

→賛成多数で可決。

②ミッション1.5 報告用フォームについて

- ・中谷常務理事より335にて作成された報告フォームについて説明があり。

ミッション1.5の月次報告で335複合地区が使用するグーグルフォームを全国レベルでも使用しようと小川エリアリーダーが検討されており、当該報告フォームを使用することについて、社団理事会においての承認について採決。

→賛成多数で可決。但し、8複合に向ける発信や運用については小川・松岡両エリアリーダーに一任する。

③旅費規程の変更について

・増澤専務理事より説明と、航空運賃については執行理事会において価格表の中央値とする意見で一致したことの確認。執行理事会においての当該案について採決

→賛成多数で可決

④MD330への回答について

・田名部理事長より旧回答案（資料青色）と最新の回答案について説明があり各要請事項への回答について採決を取った。

要請事項1の回答。原案より今後の部分を削除して決定の採決。

→賛成多数で可決。

要請事項2の回答。原則、旧回答案を採用することの採決。（一部修正含む）

→賛成多数で可決。

要請事項3の回答。増澤専務理事より会計処理を統合したことによる余剰金、人件費、運営費、等につき説明があり、回答案については統一見解、賛助会費80円である旨を確認、再度変更し図る旨の説明があった。岡村監事からは、会計監査はきちんと行われていると発言があった。

要請事項4の回答 旧回答案を採用する事の採決。尚、ライオン誌の独立性とは編集に

ついでのみである旨の社団統一見解を確認し、干渉が行われていない旨を掲載する。

→賛成多数で可決

要請事項5の回答。原則、旧回答案を採用することとし、訂正は行わないことを採決。

尚、330の賛助会費未納については当初12月中には全額支払う予定であったが代議員会の開催について時間と予算の問題があり、1月以降になる可能性が有るとの事について

MD330 議長田中常務理事より連絡があった件が理事長より報告され、了承頂く件も採決。

→賛成多数で可決。

⑤OSEALフォーラム規則の改正案について

・増澤専務理事より主にステアリング委員会構成についての規則修正の説明と、議長・ガバナーへのオセアルフォーラムでの会議参加へのお願い。改正案（原案のとおり）について採決。

→賛成多数で可決。

⑥メルボルン国際大会について

・国際大会委員長・吉村理事よりLCI国際大会員会の説明があった。日本のツアーバスの問題があり指摘を受けた事の報告、各MD議長による速やかな公認ツアーコーディネーター

(MDTC)の承認のお願いがあった。また公認TCの中から幹事TCとして、MD335TCである(株)JTB 大阪第二事業部 沼間氏が選出された件の報告と、公認TCが押さえたホテルを利用するようお願いがあった。

⑦緊急アラート災害支援運営規則 改正案について

・アラート委員長・池原副理事長より説明、アラートの問題点として委員との意思疎通と、コンセンサスに問題がある点と、組織構成については会議不足であると報告。

詳細について打合せを見直ししており、シンプルなくみを目指している。10月26日に臨時アラート委員会開催予定。

⑧国際理事・OSEAL事務局とのコミュニケーションについて

・増澤専務理事より説明、今回は進展がない為審議報告なし

⑨一般財団法人日本ライオンズについて

一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老理事より説明、去る 2021 年 10 月にサンディエゴで開催された国際理事会において、財団が正式に承認されている件の報告、内閣府公益財団法人の認定手続きを開始した旨説明と、フットサル・寺子屋事業の説明をされた。公益化には定期的な収入が必要である事(会員負担)皆さんの理解を得ていきたい旨の説明をされた。

注： 11/1 付で内閣府より認定され、公益財団日本ライオンズとなりました。

協力金 1000 円については地区へ持ち帰り、ガバナーと話をしていただく。

⑩12/6開催 第2回定時社員総会への審議対象議案について

・増澤専務理事より説明、現時点では今回の審議事項はなし。

11/15 第5回理事会で社員総会について審議する予定。

3. 各種報告事項(直近に開催された会議報告)

・直近で開催された会議について、各委員長より報告があった。

YCE委員会報告 ライオン誌委員会	吉村理事より説明 増澤専務理事より説明	派遣数の報告37派遣47人の報告 委員長より委員会会計についての質問があった。予算計上し運営するべきとの考えを示した。
国際大会委員会	吉村理事より	第60回オセアルフォーラムで予定されていた日本のレセプションの開催は無し。議長、ガバナーは毎朝開催される会議に出るようお願いがあった。
会則委員会	松本委員長より	コンプライアンス委員会について、総務人事委員会内で運営を行うことについて報告があり、決議の結果全員の承認を得た。

4. その他報告事項

次回開催予定会議についての日程確認。現時点では以下の通り。

・次回執行理事会・理事会開催予定

11/7 (火) 第4回執行理事会 WEB

11/15 (水) 第5回理事会(大阪・AP 大阪駅前)

12/6 (水) 第6回理事会・第2回定時社員総会(東京・AP日本橋)

監事より講評

・岡村監事より

下関へお越しいただいたことへのお礼。

MD330 賛助会費問題については本筋を曲げないよう、解決をお願いします。

ライオン誌問題について、くれぐれもあまり妥協しないように日本ライオンズとしての公式の地位を守ってほしい。

公益財団法人日本ライオンズについてはMD336では決議がされておらず、他の地区も決議されているところとされていないところがある。

国際協会より認可を受けているという文章をあげていただき、財団の在り方や協力について各複合年次大会にかけていただくのがよいのではと思う。

以上

2023年10月11日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 5 回理事会 議事要録

12.22 訂正版

開催日時：2023 年 11 月 15 日(水)13：30-16：30

場 所：大阪府 AP 大阪駅前

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池 原 堅 (福山久松)	不老 安正 (大宰府) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山) 【WEB】	
常務理事	栗村 安弘(大船渡) 【WEB】	監事 今井 文彦 (東京巣鴨) 【WEB】
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関)
常務理事	澤 辰 水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	<u>オブザーバー：</u>
		事務局補佐
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	菅原 孝明 (八戸)
理事	須藤 敏幸(伊達)	法律顧問
理事	松本 宰司(南房総)	池田 和 司 (東京桜門) 【欠席】
理事	吉村 弘吉(和歌山)	会計顧問
理事	玉 川 孝(熊本葵) 【欠席】	吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原孝明様

3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木秀之

4. 本日の議案について：

◆10/11 第3回執行理事会（WEB）からの継続協議事項

①公益財団法人 日本ライオンズ 公益認定の確認

協力金についてはさらなる協議が必要のため、公益認定書類の確認と、日本ライオンズ事務局内の公益財団法人日本ライオンズ事務スペース工事が事務長立ち会いの元、無事完了した件の報告。

②第2回定時社員総会 開催について

2023年12月6日（水）13：30～16：00 AP日本橋にて対面で開催と参加予定者（当法人の正社員55名・法律顧問・会計顧問）について承認を得た。国際理事の皆さんとGATリーダーについて、今回はお呼びしない。別日程で意見交換会の開催を予定。

◆その他追加協議・確認事項

①会則関係

・家族会員の件およびレオライオンの賛助会費について

→特典会員（旧割引会員）について、賛助会費はいただかない。

賛成多数にて理事会決議として総会に送る。

・社団構成員のプロトコールについて

→社団の理事長のプロトコールを議長の上に盛り込みたい。

→あくまでも会議進行等のためのローカルプロトコールとしての記載であり、社団が複合地区の上というわけではない。

→今回は理事長だけを掲載することが賛成多数で承認。

次期理事長は、理事や特に専務理事の立ち位置を変えていくよう引っ張ってほしい。LCIへ社団を認めさせる一歩としたい。

・コンプライアンス委員会について

→総務委員会の中で立ち上げてほしいので下準備として継続審議として、委員会から具体的な文章が来たら次回の理事会に出すので今回は決を採らない。

・一般社団法人日本ライオンズ 監事の人数について

→各複合地区はある意味最高の団体であるため各複合から監事を出すべき。1複合1000万単位で社団に会費を納めることになり、複合年次大会にて報告できる。

→前回の執行理事会で池田法律顧問より団体の規模・理事の人数を考えても監事8名は多いと意見あり。

→会則委員会を中心として採んでほしいので継続審議とする。

・ライオンズ必携第 61 版発行について

→ボストン国際大会にて会則の変更が多く出た。

→歴代ガバナーのページを省略し、年表を 3 ページに簡略化する。

→国際理事候補者関係について

国際理事資格審査委員会の名称変更に伴う内容の変更について、本体は複合地区年次大会で決議が必要だが今回は発行に間に合わないため（案）として掲載。

新旧対照表を複合年次大会で事後報告であるが決議してほしい。

→非常にタイトなスケジュールですが丁寧にやるので手元に届き次第速やかに確認してほしい。間に合わなければ臨時理事会を開催。

②マニラ・フォーラムでの決議事項の確認

資料3参照

→O S E A L フォーラム ステアリング委員会の参加人数がいままでは理事長のみだったが次回より議長4名と理事長の計5名に増えることもあり、参加者を選ぶ必要があるため今年度・次年度の引き継ぎ会をなるべく早く開催する。

③アラート委員会関係

・アラートフォーラム岡山開催について

2024年2月24日 岡山市民会館 最大約700名（500名予定） 登録締め切り1月25日

登録料：フォーラム2,000円/人、懇親会8,000円/人 振込先：MD336の口座

主催：（一社）日本ライオンズ 大会委員長：MD336の委員長

→アラートフォーラム組織図については、第3回社員総会にて正式に報告する。

④総務人事関係

鬼塚さんを派遣社員から正社員へ。全員一致により承認された。

⑤第2回社員総会での審議事項について

審議事項は無い。説明事項とその他事項で決して社団は上から話をする組織ではなく、広くガバナー・議長と話し合いをして、意見を吸い上げつつ運営を進めていることを伝えたい。（全員賛成）

理事会の中で決定したものを報告する。四半期の決算が今回間に合わないと思う。今日皆さんにご承認頂いた分は、社員総会の中で各ガバナーへ提示し承認いただき、ご報告となる。

・賛助会員の会費の話題の中でキャンパスクラブの話題が出たが、会則委員長より、特典会員

(旧割引会員)については無料でよいのではと見解が示された。

⑥事務所会議室利用について

資料 5 参照

新事務所の法人管理外の会議が増加。現状は先着順、所定の利用申請書を提出し利用。

申請書には参加人数や対面 web ハイブリッドなど開催形式を明記、web 会議利用の際はどこまで法人側に依頼されるかによって職員の負担が重くなる。付随する処理としてウェブ会議出欠取りまとめ法人のズーム利用の場合、接続先案内と出欠取りまとめまでを依頼するのか、またその会議が開始されるまでフォローしなければならないのか。できれば。借りの方が各自行ってほしい。対面については従来通り、基本的に利用者の方で会議運営準備を整えてもらう。資料の事前準備配布追加の場合は、事務所でコピーを無料で利用可能。職員に資料の引き出しやコピーは受けない、会議中のお茶提供はしない。室内にサービスコーナーを設けて各自自由に利用できるようにする。現状としては、ペットボトルお茶、また水の持ち込みは可能。今後、法人関連の対面会議中には持ち込みか実費を出してもらうようお願いをしていく。会議室の利用料は近隣の公共施設等の料金を考慮し、基本的に 3 時間単位で 3000 円位を予定。会議室の予約は日本ライオンズ関係のみとし、原則法人会議優先（理事会・執行理事会・委員会）。開催の申請書へ使用者の個人名を記載、後々問題が起こらないようにする。金額、利用方法等は総務人事委員会にて協議し、理事会へ上程予定。

⑦その他

→日本ライオンズ、OSEAL調整事務局と擦り合わせを行って頂きたい。GMT・FWTなど指示が複合に来ておらず、GETやミッション1.5関係も連絡がない場合があり一部コーディネーターから苦言あり。

各コーディネーター、議長との摺り合わせが社団の役割だが今期は組織改革に注力している。来期以降は、社団がその調整力を高めるべき。

→12/6 社員総会にWEB参加は無いか。1 副、2 副もオブザーバー参加させては。

総会は基本対面での参加をお願いするが、どうしても対面参加できない場合はWEBも用意する。

1 副、2 副もオブザーバー参加は協議事項とする。

→メルボルン大会早期登録料設定はどうなっているのか、社団でとりまとめは無いか。

国際協会は個人参加でもよいとなっている。しかし、日本としては、できるだけ日本のライオンがまとまって行動したいということで、いわゆる公認トラベルコーディネーター（公認TC）制度がある。そこに国際大会委員会で決定した、日本として使用するホテルを部屋の確保をお願いにしてまとめて登録していると言う形を取りたい。しかし、現実可能なかどうかは、国際協会の動きを見ながらやってみないと分からない。ただ、日本のホテルがある程度確定した後、国際協会の方からそこにシャトルバスを回していただければ、公認TCが個別でバスを手配する必要がなくなり、ツアー参加時の旅行料金もずいぶん安くなるのではないかとこの方向に動いています。ですから、基本的に日本では登録は準地区それから複合という形で登録をまとめていただきたい。代議員会だけは社団でまとめる。

・会員同士のトラブルの事例が報告され、ライオンズ会員としてふさわしい行動をとっていかなければ世間から認められなくなってしまうとし、社団としても一人一人が自覚を持ち誠心誠意行動していくことや、コンプライアンス委員会立ち上げ時の運営方法が協議された。

→札幌で開催されるOSEALフォーラム2025について、OE C役員が会場とホテルを視察し、プレゼンを行った。規模は1万2千、会場のコンセプトに承認を得た。又、2030年国際大会に札幌市が立候補する予定である。現在ホテル等（約3000室）調整を行っている。

→役員必携には会員種別ごとに投票時の代議員数算出の分母に入れる・入れない、の区分があるが、今回のライオンズ必携にも同様の表が入っているので参考にしてほしい。

→次回執行理事会・理事会開催予定

12/6 （水） 第6回理事会・第2回定時社員総会（東京・AP 日本橋）

3. 各種報告事項（直近に開催された会議報告）

協議事項内で報告されたため、省略

4. その他報告事項

・監事より総括

・橋本監事より

→よい会議であったと思う。本日の内容を各複合に持ち帰り、しっかりとご説明頂きたい。それが議長の役目である。実行力を持っていただきたい。

・岡村監事より

→プロトコールについては毎回話がでるが今回の決定でよろしいと思う。監事の増員については8人では多すぎる、業務内容的に不要ではと考える。ライオンズ必携について、年表のガバナ一名を削除するとクレームが出る可能性が高いため、慎重に行った方がよいと思われる。

・今井監事より

→丁寧に皆さんに納得していただきたいという姿勢すごくわかった。本当に良い方法でやられていると思う。監事としてもさらに力を入れていきたい。ライオンズクラブはちゃんと奉仕活動してgood standingであるべき。

・佐々木監事より

→ガバナー・議長を選ぶには特に地区に資する人を出してほしいということを優先すべき。従ってその時に自分の自己紹介の履歴があるが、その賞罰のところを書かない限りは絶対にこれは審議される。是非、賞罰欄に記入をさせ事実関係を可視化した方が良いと思う。

以上

2023年11月15日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 6 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 12 月 6 日(水)11：00-12：00

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池 原 堅 (福山久松)	不老 安正 (大宰府)
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす) 【WEB】	理事
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山)	
常務理事	栗村 安弘(大船渡)	監事 今井 文彦 (東京巣鴨) 【欠席】
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 佐々木 忠康 (小樽)
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関北) 【WEB】
常務理事	澤 辰 水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	<u>オブザーバー：</u>
		事務局補佐
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	菅原 孝明 (八戸)
理事	須藤 敏幸(伊達)	法律顧問
理事	松本 宰司(南房総)	池田 和 司 (東京桜門)
理事	吉村 弘吉(和歌山)	会計顧問
理事	玉 川 孝(熊本葵) 【欠席】	吉田 宗一郎(東京武蔵野)

以上

1. 参加者ご挨拶 田名部理事長・村木前理事長

2. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原

4. 本日の議案について：

増澤事務長よりまず本日の議案について説明

・第2回社員総会進行について

午後からの開催概要の確認と、今回は報告事項のみの開催になることが確認された。

本日午後13:30から16:00まで対面で開催したい。

会場に関しては、AP日本橋会議室C。各委員長は報告事項として各委員会の報告をお願いしたい。報告をいただくとともに、この範囲の中にあったものをプラスアルファしてご報告いただければありがたい旨の説明があった。

・年次大会予定とお祝辞について

各地区より送られている日程案が示され、理事会構成員より埋まっていない箇所の報告を一部いただいた。

お祝辞については社団より取りまとめ、各複合・地区へお送りするが掲載については各自のご判断をいただく旨の説明。

3 3 1 C地区 4月26日 苫小牧グランドホテルニュー王子

3 3 1 A地区 5月12日 札幌 会場 札幌パークホテル

複合地区 5月25日 札幌 会場 札幌京王プラザ

3 3 0 複合地区 5月20日 東京 会場 ホテル雅叙園

3 3 7 D地区 4月13日 那覇 会場 パシフィックホテル沖縄

複合地区 5月18日 那覇 会場 那覇文化芸術劇場なはーと

3 3 6 C地区 4月14日 広島 会場 リーガロイヤルホテル広島

3 3 4 D地区 4月20日 金沢 会場 ホテル金沢

・今後の予定について

直近の理事会の開催予定のほか、2024年7月までの予定案の確認。

第7回 理事会 1月19日 盛岡 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

第8回 理事会 2月26日 福井 富士屋会館（鯖江市）

第 9回	理事会	3月19日	東京	(第3回社員総会同日開催)
第10回	理事会	4月18日	沖縄	リザンシーパークホテル谷茶ベイ
第11回	理事会	5月14日	草津	現時点では未定
第12回	理事会	6月 5日	東京	(第4回社員総会同日開催)

その他予定

- ・アラートフォーラム岡山 2024年2月3日(土)
 - ・SON長野 2024年2月24日(土)・25日(日) 翌26日が福井での理事会のこともあり多くの方に参加をいただきたい。
 - ・新旧引き継ぎについて 5月半ばごろを予定。パタヤのステアリング委員会への参加者決定も必要なこともあり、次期議長候補者へご参加をお願いする。
 - ・6月21-25日 メルボルン国際大会
 - ・7月末 次年度第1回社員総会を予定
- その他国際理事候補者推薦要望書 締切についての説明。

その他

・日本ライオンズ事務局 年末年始休暇について

年末年始の休暇は12月29日から年明け1月4日まで、事務局は休み。もし緊急連絡があるようでしたら増澤義治専務理事まで。

・アラート委員会より

アラートフォーラムが2月23日で予定していたが2月3日に変更。理由は大学入試が23日のためホテルがすでに埋まっており、宿泊場所の確保が難しいため。

また懇親会の出欠変更については2日前となる2月1日まで可能。請求書は後日MD336より発行予定。

登録・懇親会費の振込の件 準地区より名簿・参加料金を精査した上、MD 336へ振り込むこととし、後日日本ライオンズへ決算書をご提出いただく。

アラートフォーラムが持ち回りで開催されることから、次回も同様に準地区より開催地区MDへ振り込みを行うことを決議。名簿をお送りの際は複合へCCでお送りいただく。

・会則委員会より

一般社団法人理事長はローカルプロトコールとして議長の上で承認いただいていたが、公益財団法人日本ライオンズの理事長もローカルプロトコール上、同一レベルで位置づけをお願いしたい旨が会則委員長より、会則委員会での内容を元に提案。

尚、社員総会の審議事項ではないが総会にて意見聴取、説明を丁寧に行う事を確認した。
社員総会で採決を行うことができないかと提案があったが、池田法律顧問より総会での決議の場合は事前の周知が必要な旨説明があり、書面決議等での決議も検討する。

ライオンズ必携について、印刷が12月には印刷が開催予定、各地区に対して単価のお知らせもしなければいけない。基本的には一冊220円、6万冊。昨年は6万5千冊。できれば220円前後の範囲内で10円ないし20円の値上げが出てくる可能性がある。頒布価格の決定については理事長一任とさせて頂きたい旨説明があり、承認される。

※注：その後単価は250円に決定済

・MD330賛助会費について

田中常務理事より、現在前向きに事は進んでいるものの、事務手続きにおいて下期5月2日に行われる複合年次大会まで解決が伸びることにご理解ご協力を頂きたい旨の説明があった。この件について満場一致で承認された。

・公益財団法人日本ライオンズについて

一般社団法人日本ライオンズと公益財団法人日本ライオンズとの関わりについて協議。
災害支援という観点から、災害支援については公益財団法人で行うべきではないかとの意見、アラート委員会の立ち位置についても意見が出た。

・理事長より総括

まずは知るところから、ということで全国を回らせて頂いてわかったが、まずは正しくご理解をいただくことが重要であると感じた。ガバナーになるための勉強をたくさんしてきたが、社団は何か、財団とは何か、その繋がりは何かなど、まだまだ分かりにくいところがあると感じる。クレームやネガティブなイメージを具体的に聞いたが日本ライオンズとは直接関係のない部分も多いと感じた。

しかし、関係ないとは言わず、今から次年度以降、勉強会をきちんとやって理解を深めるべきであり、理解をした上での議論が必要であるとする。財団についても理解を深め、どのように今後携わっていけばいいのかということも研究していかないといけない。

これからも丁寧にやっていきたい旨の説明があった。

以上

日本ライオンズ発行<2023-24-執-M6>

2023年12月6日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-24) 一般社団法人日本ライオンズ 第2回定時社員総会（全国ガバナー会） 議事録

2023年12月6日(水) 13:30-16:00 AP 日本橋 C ルーム

出席者リスト**2023-24 年度正社員【地区ガバナー】**

330-A 地区ガバナー 阿部 かな子【欠席】
 330-B 地区ガバナー 石田 真一
 330-C 地区ガバナー 田中 雄一 ※
 331-A 地区ガバナー 設楽 幸子
 331-B 地区ガバナー 藤原 回向【欠席】
 331-C 地区ガバナー 渡部 義男
 332-A 地区ガバナー 大矢 進
 332-B 地区ガバナー 高橋 寛
 332-C 地区ガバナー 渡邊 俊弥
 332-D 地区ガバナー 門馬 弘
 332-E 地区ガバナー 西村 公夫
 332-F 地区ガバナー 石垣 勝康
 333-A 地区ガバナー 鈴木 壽男
 333-B 地区ガバナー 後藤 一男【欠席】
 333-C 地区ガバナー 北野 淳子
 333-D 地区ガバナー 福田 勝巳【欠席】
 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行
 334-A 地区ガバナー 木野村 好己【欠席】
 334-B 地区ガバナー 川嶋 富士雄【欠席】
 334-C 地区ガバナー 前田 磨
 334-D 地区ガバナー 小出 進
 334-E 地区ガバナー 喜多 友一
 335-A 地区ガバナー 山中 健
 335-B 地区ガバナー 西尾 良典
 335-C 地区ガバナー 山本 忍
 335-D 地区ガバナー 廣田 晃一
 336-A 地区ガバナー 山崎 勝彦
 336-B 地区ガバナー 藤井 信英
 336-C 地区ガバナー 三口 巖
 336-D 地区ガバナー 山崎 もとみ
 337-A 地区ガバナー 中村 巧
 337-B 地区ガバナー 下堂 蘭 一将
 337-C 地区ガバナー 古賀 義行
 337-D 地区ガバナー 新里 正雄 ※
 337-E 地区ガバナー 伊藤 竜彦

※ガバナー、議長兼任**2023-24 年度正社員【理事会理事】**

公益財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正
 2022-23 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之

【2023-24 年度 協議会議長】

MD330 議長 田中 雄一
 MD331 議長 松浦 淳一【WEB】
 MD332 議長 栗村 安弘
 MD333 議長 星野 勝美
 MD334 議長 戸祭 宏樹
 MD335 議長 中谷 豊重
 MD336 議長 澤 辰水
 MD337 議長 新里 正雄

【2022-23 年度 協議会議長】

MD330 議長 吉本 晴夫
 MD331 議長 須藤 敏幸
 MD332 議長 田名部 智之
 MD333 議長 松本 宰史
 MD334 議長 増澤 義治
 MD335 議長 吉村 弘吉
 MD336 議長 池原 堅
 MD337 議長 玉川 孝

【2022-24 年度監事】 2年任期の2年目

MD330 元議長 今井 文彦
 MD331 元議長 佐々木 忠康
 MD334 元議長 橋本 勝策
 MD336 元議長 岡村 聖爾【欠席】

正社員総数 55 名（出席 47 名・Web1 名・欠席 7 名）

【オブザーバー】

法律顧問 池田 和司
 会計顧問 吉田 宗一郎
 事務局補佐 菅原 孝明

(午後 1 時午後 1 時 30 分開始)

・定足数の確認

増澤専務理事より、本日出席者人数の確認。

正社員 55 名中 48 名の出席。定款 17 条 総正社員の過半数の出席により、社員総会の成立の確認。

今回は審議事項なしのため議決権行使書での参加は無。

・出席者紹介およびご挨拶

・一般社団法人日本ライオンズ 田名部理事長よりご挨拶。

・一般社団法人日本ライオンズ 村木前理事長よりご挨拶。

・公益財団法人日本ライオンズ 不老理事長よりご挨拶。

・議事録署名人選出、議事録作成人選出

議事録作成人として MD330 田中常務理事・MD335 中常務理事。補助として菅原事務局補佐。

議事録署名人として 334-E 地区喜多ガバナー・336-B 地区藤井ガバナーを指名。

・議長の指名

定款第 16 条により、田名部理事長が議長に指名される。

・各種報告内容

報告事項

(1) 上半期活動報告

田名部理事長より報告。会議開催実績の他、各MDを訪問したことや、OSEAL フォーラムへの参加し各種会議へ出席したこと、下半期の予定について報告。

(2) 各種委員会報告

ア 会則委員会 松本委員長

① 役員必携を発行した。

4 月を目標にして、役員必携（改訂版）の発行準備をしている。こちらを参照すればクラブ運営について分かるようになっているので、ぜひクラブ三役にはお持ちいただき、次期、三役研修会に活用していただきたい。

② 1 月末を目標にしてライオンズ必携第 6 1 版の編集集中である。

今年度はかなり会則変更が多い。役職者には特に必ず携帯いただくようお願いしたい。

新会員の入会キットと一緒に渡してほしい。

【質疑・要望・意見】

- ① 必携について、紙ベースでいいのか？ネットで提供できないのか？（山本ガバナー）

→・一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトに掲載している。是非活用していただきたい。準地区のウェブサイトとリンクをはっていただきたい。

イ 国際大会委員会 吉村委員長

- ① 2025年北海道オセアルフォーラム

国際大会委員会では国際大会、オセアルフォーラムを主幹としているが、現あ位は2025年北海道オセアルフォーラムと、2030年北海道国際大会（立候補準備中）と北海道を意識して動いていると報告。

- ② マニラ・オセアルフォーラム（2023年11月2-5日）

・日本から1490名の登録
・登録キットの不備が見受けられ、記念誌や出席証明がなかった。IDカードが発行できなかった。晚餐会での食事が出なかったことや会議や晚餐会での時間がルーズであった等、現地フォーラム委員会には努力をいただいたものの不手際が見受けられた。札幌オセアルフォーラムの反省としたい。

・来年は、タイのパタヤで開催される。（2024年11月）

- ③ メルボルン国際大会（2024年6月）

・スケジュールの説明と、早期登録のお願い。
・6月22日夕方（予定）に代議員会を開催予定。
・ホテルの件 各MD公認TCがホテルを斡旋するので、利用をお願いする。
現時点では1泊3万2千-5千円ほどの予定、このホテルと会場とシャトルバスを運行してもらえよう交渉を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① 国際大会の7月開催は考えてほしい。（石垣ガバナー）

・国際大会については日本ライオンズの範疇ではない事を理解いただきたい。日程・開催場所については、7年前から決まっている。

- ② ポータルサイト（LIONPORTAL）はどうなっているか。（石垣ガバナー）

・ポータルサイトは、国際協会によれば2024年1月から公開予定。

注：12/28付けでOSEALより公開延期の連絡があった。

ウ アラート委員会 池原委員長

- ① 組織、規約、資金の問題があるが、今年度はまずはシンプルで災害時に迅速に動きやすい組織作りを目指して活動中である。
- ② 委員会運営規約と現行組織図が合致していない部分があり。
現状に合わせた組織図にすることと、組織のシンプル化をはかっている。完成後に社員総会で諮る予定。
- ③ 次年度（2025 年）全国アラートフォーラム MD333 で開催予定。その他引き継ぎのため研修会制度について検討中。
- ④ 8 複合対象 備蓄庫（現時点 3 3 6、3 3 1 は整備済み）、緊急支援金につきアンケートを実施。地区によりかなり幅はあるが、今後の災害への備えとして申し送り等を行いたい。
- ⑤ 今年度のアラートフォーラム
・岡山市民会館にて開催。大学受験と重なりホテルが確保できないため 2 0 2 4 年 2 月 3 日に変更している。多くの方にご参加をいただきたいと呼びかけ。
登録料・懇親会キャンセル受付（開催 2 日前まで）についてと、今年度以降は準地区から開催地への振り込みをお願いすることを本日の理事会にて決定されたことが報告された。
- ⑥ その他
・今後の災害に備え最善の努力をお願いする。災害時のアラート規約の確認と、お持ちでない場合は作成いただき、周知徹底をお願いしたい。

【質疑・要望・意見】

- ① 全国組織としてのアラート委員会の役割を分かりやすくしてほしい。本来であれば地区に設置をし、機敏性のある組織にすべきではないか？（渡邊ガバナー）
→ ・問題点が組織にあったかどうかも含め大変不透明であったため、今年度は 0 から組織作りに全力投球を行っている。組織の情報の流れを迅速かつ分かりやすくすることや、組織自体をシンプルにし、問題点を解決していきたい。機敏性の高いアラート組織を作っていきたい。
動きやすいアラート委員会を作るために意見があれば、どしどしいただきたい。
- ② 9 / 8 のいわき市の台風時に、アラート委員会が勝手に動いて困った。
アラート委員会が、ガバナーの了解なしに活動していた。
ボランティアが必要なのに、緊急の必要のない場面で炊き出しばかりしていた。
食中毒の発生の懸念もある。支援に来ていただいたことはありがたいがやはりガバナーを頂点として活動を行うべきであると思う。（門馬ガバナー）
→ ・地区アラート委員長・ガバナーが中心となり動いていくことが重要と考えて

いる。ガバナー、議長の要望に応えることができるよう、委員会内で再度、申し合わせしていく。

- ③ 災害時の被害状況について地元のガバナーの意見も聞いてほしい。（石垣ガバナー）

→きちんと意見をきき、進めていく。

エ SON委員会 増澤専務より

- ・SONの説明と、11月18、19日 長野市での開催報告、今後の開催予定について

② 2/11、12 北海道、名寄市にて雪上競技

② 2/24、25 長野、氷上競技・閉会式

・広島大会では各クラブより5000円のご支援を頂いたが、今回はLCIFからの支援金を充てるため金銭のご支援は頂いていないが、ボランティアとしてご協力をいただいていることの報告。

【質疑・要望・意見】

- ① SONの開催について、今後の資金援助については決まっているか。（西村ガバナーより）

→・今回の開催について、SONにて開催のあり方を考えようという話になり、協力金の依頼を行わなかったというところもある。今後も同様にLCIFからの支援で開催を行うようになると現在のところは聞いている。

オ PRマーケティング委員会（ライオン誌）増澤専務

- ① 経費を節約しながら、紙ベースで年4回、WEB版を運営している。月1回編集会議を行い、取材や掲載記事についての検討を行っている。今回は経費削減と発行回数維持のため、取材地に近い各複合地区委員が取材を行うこととした。

・その他社団HPの更新、メールマガジン等活動報告があり、ライオン誌LINE登録が呼びかけられた。

カ 国際理事候補者資格審査委員会（松本委員長）

- ① MD334 元議長 L仁科良三の審査を行い、国際理事推薦候補者としての資格を問題なく満たしていると決議した件の報告。

② 昨年度の名称変更を受け規約の改正についても会則委員会で進めていく。

キ YCE委員会（吉村委員長）

- ① 2023年冬期から派遣を再開した件と人数の報告。

② 11/23 YCE実務者会議を開催した。

③ YCEの制服を変更する。ベストに変更する。

ベストの見本が示された。日の丸をイメージしたデザインにしたことや寄せ書きができるように白を基調としていることなど説明。2024年春から間に合うようにしたい。価格は6000円から7000円を予定している。

【質疑・要望・意見】

① 受入家庭マニュアル（330～337、統一マニュアル）がかなり古いので、新しいマニュアルを作成してはどうか。（北野ガバナー）

→・統一マニュアルを2～3年前に作成している。再度、早急に検討し、速やかに複合を通じて準地区へ提供したい。

ク ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 玉川委員長

① 各地区委員会構成について各ガバナーへ質問。地区により、クエストと薬物乱用委員会の組織編成がまちまちである。アンケートをとって現状把握したい。アンケートについては組織の統一を目的とするものでなく、あくまで現状把握のためである。

【質疑・要望・意見】

クエストに代わるような教育プログラムを各学校に提案してきている会社があり、ライオンズクエストと競合している。プログラムの見直しが必要なのは。→プログラムの内容については国際協会より JAID へ送られている。取り急ぎ現状把握を行いたい。

（3）質疑、要望

ア 定款の社員の入社に関する規定について（山崎ガバナー）

定款第7条2項において、新入社員の承認は社員総会となっているが、内規第1条ではガバナーになった時点で選任されるものとなっている、整合性を持たすため、新入社員承認は理事会もしくは代表理事の承認とするなど、定款変更を含めて検討できないか、とのご提案。今後の理事会にて前向きに審議を行い、次回社員総会にてお諮りすることとする。

イ （一社）日本ライオンズ役員のプロトコールはないのか？（三口ガバナー）

→・式典の際に困るという意見もあったため理事会で協議した結果、原則として、議長・元議長など公認プロトコールのとおりとなる。

ローカルプロトコールとして、日本ライオンズ理事長は、議長の上に設けさせて

いる。

エ （公財）日本ライオンズの理事長のプロトコルをどうするかについて、総会の意見を聞きたい。決定は理事会となるが、その前に皆様の意見を聞くと本日の理事会にて申し合わせを行った。あくまで席次等決定のためのローカルプロトコルであることを念頭にご意見を頂きたい。（田名部理事長）

・先に不老理事長のお話を聞き、その後意見を募ったほうがいいのではという意見があり、後ほどご意見をいただくこととした。

→・不老理事長の活動報告後に改めて諮った結果、ローカルプロトコルとして記載することとし、ガバナーの総意で賛成を得たものとして認識させていただいた。この場で本件について理事の意見を諮り賛成多数で承認を得た。掲載順については会則委員会での協議内容を元にした松本会則委員長の提案により一社理事長の次に掲載する。

（４）監事講評（佐々木監事）

前回、今回と充実した会議ができています。皆様から意見が活発に寄せられ、頼もしく感じられた。

議長・ガバナーはライオンズという組織の中でみな仲間であり、上も下もない。今後とも、ライオニズムを十分に理解いただいたうえ、高揚に邁進していただきたい。

ケ その他

① MD 3 3 0 の賛助会費について（田名部理事長）

・現在、未納である。一般社団法人法においては半期の納付がない場合は役職につくことができない。

日本ライオンズとしても MD330 と話し合いを重ねてきて、前向きに解決について進んでいるが、MD 3 3 0 から年次大会まで決議を行うことが困難であり、会費の準備ができていないという事務的な問題がある。

次の年次大会まで猶予してもらえないかとのMD 3 3 0 田中議長から申し出があったので、友愛と寛容の精神に基づき理事会でこれを了承としたことの報告があり、ガバナー各位の了承を得た。

・（公財）日本ライオンズ 活動報告 公益財団法人日本ライオンズ不老理事長より

・公益財団立ち上げに至った経緯と、財団の主な事業について説明。

世界各国で自国のために財団を立ち上げている国が多くあり、日本としても有志が集まり

2020年5月12日に前身となる一般財団法人日本LCIFを結成。災害や児童養護施設への支援を行ってきたが、その後名称変更があり、2021年10月28日～31日に開催されたサンディエゴ国際理事会にて国際協会に承認される。現在は特別支援学級フットサル大会と、児童養護施設の学習支援に絞って活動しており、文部科学省に後援をいただくなど各所へご理解も頂いている。今後は人道支援や災害支援を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① （一社）日本ライオンズにおいて、今後のあり方、ルール等を定めていただきたい。
協力金についても会員からのさらなる理解が必要であり、誰がコンセンサスを取り、運用の詳しい方法について明確にしてほしいことや、また一般社団法人日本ライオンズの立ち位置を明確にしてほしいという意見。

田名部理事長より、皆様と一緒に勉強し理解を含め、社団・財団と両輪として協力できるようにしていくと回答。

- ② 331-A設楽ガバナーより、地区での取り組みが紹介され、公益化の説明を受け、昨年度より財団の委員会を設け、協力金を含め活動していることが報告された。

・その他

- ・増澤専務理事より、日本ライオンズ事務所年末年始休暇についてのお知らせと、
第3回（3月19日 火 東京）第4回（6月5日 水 東京）社員総会日程のお知らせ

以上

議事録作成人：

常務理事	田中 雄一
常務理事	中谷 豊重
事務局補佐	菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長	田名部智之【押印省略】
334-E 地区ガバナー	喜多 友一【押印省略】
336-B 地区ガバナー	藤井 信英【押印省略】

2023～2024 年度
第 1 回 336 複合地区 GAT/長期計画合同委員会 議事要録

開催日時：2023 年 10 月 6 日（金）13:00～16:30
開催場所：杜の街グレースオフィススクエア 3F 会議室「ホール C」
岡山市北区下石井 2-10-8
形 式：REAL

出欠

※敬称略、順不同

	役 職	氏 名	出欠
1	ガバナー協議会議長	澤 辰水	○
2	A 地区ガバナー 複合地区 GLT 担当ガバナー/複合地区長期計画委員会担当ガバナー A 地区 GMA リーダー	山崎 勝彦	○
3	B 地区ガバナー 複合地区 GMT 担当ガバナー/複合地区長期計画委員会担当ガバナー B 地区 GMA リーダー	藤井 信英	○
4	C 地区ガバナー 複合地区長期計画委員会担当ガバナー/C 地区 GMA リーダー	三口 巖	○
5	D 地区ガバナー 複合地区 SCP・FWT 担当ガバナー/複合地区長期計画委員会担当ガバナー D 地区 GMA リーダー	山崎 もとみ	○
6	複合地区 GMA 世話人 A 地区 GMT コーディネーター/A 地区 GLT コーディネーター	真鍋 隆	○
7	複合地区 GMA コーディネーター/複合地区 GMT コーディネーター	池原 堅	○
8	複合地区 GMT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会副委員長	石井 淑雄	○
9	複合地区 GMT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会副委員長	上原 正樹	○
10	複合地区 GMT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会副委員長	鳴戸 大二	○
11	複合地区 GMT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会副委員長	神田 義満	○
12	複合地区 GLT コーディネーター	西尾 慎一	○
13	複合地区 GLT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会 A 地区委員	向 和人	欠
14	複合地区 GLT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会 B 地区委員	榎本 明	○
15	複合地区 GLT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会 C 地区委員	西本 義弘	欠
16	複合地区 GLT 副コーディネーター/複合地区長期計画委員会 D 地区委員	日下 眞二	○
17	複合地区 GST 世話人	弓場 秀俊	○
18	複合地区 GST コーディネーター	中島 繁	○
19	複合地区 GST 副コーディネーター	占部 智之	○
20	複合地区 SCP・FWT コーディネーター	鵜飼 恵美	○
21	複合地区長期計画委員会委員長	酒井 公一	○
22	ガバナー協議会事務局運営委員会委員長	松岡 寿一郎	○
23	B 地区 GMT コーディネーター/複合地区長期計画委員会 B 地区委員	難波 進	欠
24	C 地区 GMT コーディネーター	宮本 浩二	○
25	D 地区 GMT コーディネーター	岡田 和好	○
26	B 地区 GLT コーディネーター	高尾 佳孝	欠
27	C 地区 GLT コーディネーター	高田 信吾	欠
28	D 地区 GLT コーディネーター	今井 久師	○
29	A 地区 GST コーディネーター	長尾 和彦	○
30	B 地区 GST コーディネーター	畑中 隆之	○
31	C 地区 GST コーディネーター	横路 望	○
32	D 地区 GST コーディネーター	清水 敏昭	欠
33	A 地区 SCP・FWT コーディネーター	藤岡 志津恵	欠
34	B 地区 SCP・FWT コーディネーター	斉藤 由香	○
35	C 地区 SCP・FWT コーディネーター	大辺 幸枝	欠
36	D 地区 SCP・FWT コーディネーター	三宅 和美	欠
37	複合地区長期計画委員会 A 地区委員	坂東 伸政	○
38	複合地区長期計画委員会 A 地区委員	一宮 昭夫	○
39	複合地区長期計画委員会 C 地区委員	九十九 誠	欠
40	複合地区長期計画委員会 D 地区委員	原田 瑞樹	○

1. 開会挨拶：336 複合地区 GMA 世話人 真鍋 隆
2. 出席者紹介：ガバナー協議会事務局運営委員会委員長 松岡 寿一郎
3. 議長挨拶：ガバナー協議会議長 澤 辰水
4. 議事録作成人の指名
議事録作成人：複合地区 GST 副コーディネーター 占部 智之
5. 議 題
議事進行：MD336 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅 13:10～14:00
・全体会議の進行の説明 (資料・スクリーン・プロジェクター)
・MD336・A～D 地区ガバナー目標について報告(5 分程度) ミッション資料 1.2.3

① 2023-2024 年度 GAT・GMA・ミッション 1.5 について担当からの説明(5 分程度)

- ・336 複合地区 GMA/GMT コーディネーター 真鍋 隆・池原 堅
- ・ミッション 1.5 336 複合地区担当者(ミッション 1.5→GAT 全体取組)

池原：2027.7.1 自店で世界全体の会員数 1 5 0 万人への目標と達成項目を確認し新クラブ結成プロセスを提案した。

真鍋：直近の会員動静の説明のあと、ミッション 1.5 をどう咀嚼し運用するかが大切。長期計画委員会と連携し準地区の現状に寄り添い次のリーダーを育成することが大切。

山崎：基本は GAT。縦線でミッション 1.5 を遂行する。

3 5 支部 1 7 5 名、各クラブ期末 1 名増で入会者合計 3 0 0 名強、最低+1 3 5 名目標

藤井：入会目標 2 3 0 名。退会者をくい止め、最低プラス 145 名目標

三口：年 5 0 名純増×4 年で 2 0 0 名必要。今年度は入会 3 0 0 名マイナス退会予測 2 5 0 名＝純増 5 0 名目標

山崎：新クラブエクステンション 1、全クラブに支部結成依頼。純増 5 0 名目標

- ・336 複合地区 GLT コーディネーター 西尾 慎一(各研修会・資格取得)
- ・336 複合地区 GST コーディネーター 中島 繁 (SON・アクティビティ)
- ・336 複合地区 SCP・FWT コーディネーター 鵜飼 恵美(学生会員・SCP)
- ・336 複合地区長期計画委員会委員長 酒井 公一(S・M・L 計画)

② 各委員会別テーブル配置 地区・複合地区目標達成の方策協議 14:05～15:05

- ・ワークショップ&テーブルディスカッション(模造紙・付箋用紙利用)
- ・各委員会別にテーブル配置 ※準地区各委員長含む(第一・第二副地区 G は各自出席委員会選定方)～各コーディネーター&委員長進行

③各委員会別コーディネーター&委員長報告(長期計画委員会含む) 15:10～16:05

ターゲット達成の為に全委員会によるワークショップ&ディスカッション

6. 質疑応答

7. 次回開催方法と開催日の決定：1 2 月 1 2 日または 1 2 月 1 4 日 w e b 開催で調整

8. 閉会挨拶：A 地区ガバナー 山崎 勝彦 16:20

議事録署名人：336 複合地区 GMT コーディネーター 池原 堅
承認年月日：2023 年 11 月 16 日

Akehara Katashi

2023～2024 年度
第 2 回 336 複合地区 GMA・GAT 全体会議 議事録

開催日時：2023 年 12 月 7 日（木）13:30～16:30
開催場所：336 複合事務局
岡山市北区厚生町 3-1-15
形 式：ハイブリッド

出欠

※敬称略、順不同

	役 職	氏 名	REAL	WEB
1	ガバナー協議会議長	澤 辰水	○	
2	A 地区ガバナー 複合地区 GLT 担当ガバナー/A 地区 GMA リーダー	山崎 勝彦		○
3	B 地区ガバナー 複合地区 GMT 担当ガバナー/B 地区 GMA リーダー	藤井 信英	○	
4	C 地区ガバナー C 地区 GMA リーダー	三口 巖	○	
5	D 地区ガバナー 複合地区 SCP・FWT 担当ガバナー/D 地区 GMA リーダー	山崎 もとみ		○
6	複合地区 GMA 世話人 A 地区 GMT コーディネーター/A 地区 GLT コーディネーター	真鍋 隆		○
7	複合地区 GMA コーディネーター/複合地区 GMT コーディネーター	池原 堅	○	
8	複合地区 GMT 副コーディネーター	石井 淑雄		○
9	複合地区 GMT 副コーディネーター	上原 正樹	○	
10	複合地区 GMT 副コーディネーター	鳴戸 大二		○
11	複合地区 GMT 副コーディネーター	神田 義満	欠	
12	複合地区 GLT コーディネーター	西尾 慎一	欠	
13	複合地区 GLT 副コーディネーター	向 和人		○
14	複合地区 GLT 副コーディネーター	榎本 明	○	
15	複合地区 GLT 副コーディネーター	西本 義弘		○
16	複合地区 GLT 副コーディネーター	日下 眞二	欠	
17	複合地区 GST 世話人	弓場 秀俊	欠	
18	複合地区 GST コーディネーター	中島 繁	○	
19	複合地区 GST 副コーディネーター	占部 智之		○
20	複合地区 SCP・FWT コーディネーター	鵜飼 恵美		○

(総合)司会進行：MD336 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅

1. 開会挨拶：336 複合地区 GMA 世話人 真鍋 隆
2. 議長挨拶：ガバナー協議会議長 澤 辰水
3. 議事録作成人の指名
4. 議 題

議事進行：MD336 GMT・GMA コーディネーター 池原 堅

- ① GMA・GAT 各委員会 11/末までの会員移動状況報告並びに各準地区ガバナーからの報告
- ② 各委員会報告と今後の課題について
- ③ その他

5. 質疑応答
6. 次回開催方法と開催日の決定
7. 閉会挨拶：A 地区ガバナー 山崎 勝彦

議事録作成者	議事録作成日
336D 地区 地区ガバナー:山崎 もとみ	2023/12/09

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長より開会宣言

MD-GMA 世話人：真鍋 隆(A こんぴら) ご挨拶の言葉
ご参加いただきありがとうございます。12 月の大会防止をお願いして会員増強をよろしく
お願いいたします。

MD 議長：澤辰水 (D 下関) ご挨拶の言葉
各ガバナーの実績報告をお願いいたします。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長
第二回の時のデーターを元に、11 月末の状況を各委員長に発表お願いいたします。

山崎勝彦 A 地区がバナー
11 月末の数字では 50 人前後の会員増。今後は増加の予想。3 支部の結成で 15 人の増が見込
める。家族会員の見直しで入会式、研修もやっていきたい。
半期で支部の理解を求めながら結成に努力して行きたい。各 R に 9 つ結成、いずれは各 Z に
26 支部を結成したい。各クラブ一人の会員増をお願いしたい。現実 100 名の増員をしたい。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長
目標に対して今のところ 100 パーセントに近い。前年度より良い結果が出ている。今後の対策
は・・・？

山崎 A 地区がバナー
後の半期で支部の結成をしたい。各 R で 9 つの支部を結成したい。期末で各クラブに純増 1
名お願いしている。135 の目標に対して 100 名はしたい。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長
前年度より良い成績ですが、反省点はありませんか？

山崎 A 地区がバナー
各クラブ会長にミッション 1.5 のピンをもらっているが、まずは RC、RC に配った上で、配り
たいが不足しているが、数が不足しているので、同じようなピンを作って 4 年間使いたい。

藤井信英 B 地区がバナー

11 月末で純増 46 名、12 月の退会防止に努める。ガバナー主導で 1 月 2 月中に各各 R 単位で
2 回目の懇談会を実施したい。GMA の活用。支部クラブに対して理解を得られないので、ネ
ーミングを考えたい。ウェビナーなどで理解を得たい。家族会員ご子息などのクラブを結成し
たい。4 年間を通して考えたい。女性を入会させたい。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長
何か施策はあるか？

藤井信英 B 地区がバナー
重きに於いているのは退会防止。既存のメンバーとニューメンバーとのすり合わせを考える。

三口 C 地区がバナー
現行 110 名の入会に対して退会が 55 名で純増 65 で推移。クラブ支部 11 のよていで、2 支部
結成。ZC には達成率を知らせて努力を求める。クラブになじめなくなった人の他クラブの移
籍のシステムの構築を考えている。若い人たちのエクステンションを考えている、12 月に 1
クラブの解散で、他クラブへ移籍をしてほしい。事務局の会員を入れたいと思うが、スムーズ
に進まない問題がある。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長
ご意見を A 地区から第一副地区がバナーから順番に発言よろしく。

石井 A 地区第一副地区ガバナー

支部の結成を考えている。エクステンションは難しいので 4 支部からエクステンションを考える。支部を結成するための資料の作成をしたい。

上原 B 地区第一ガバナー

支部に対してのイメージが良くないので改善したい。4 年をかけて改善したい。若い世代のエクステンションで会員増強。マスコミを使いながらイメージアップを

鳴戸 C 地区第一副地区ガバナー

三口がガバナーが頑張っていて順調な推移をしているが、チームとして理解ができていないのでまとまりがないので戦力にならない。行動計画ができていない。ZC の研修で各クラブの会長、会員委員長などに働きかけをし、やめた会員やご子息などに声掛けをし、チームとし活動をする。支部が 2 つしかできていないが、どのようにドロップを防ぐかが、重要。支部からエクステンションなど若い人を巻き込んで増強を図る。ピースストックで若い人を集められた。生かしていきたい。女性会員が重要。女性活躍時代の必要性。大会防止。新しいニーズに合う魅力ある来 p ン図クラブを結成する。

山崎もとみ D 地区ガバナー

家族会員制度の交通整理ができていない。退会者が続くかもしれない。レオクラブの中に支部を作ることと、20 人近くの支部があるのでエクステンションしたい。企業内クラブを作る予定。1 月に 2 つの支部の結成ができる予定。レオクラブの学生支部からクラブにエクステンションしたい。今のところ 18 名の増。鵜飼コーディネーターの研修のお陰で前向きになっている。

向委員長 A 徳島すだち

進展がない状況・・・山崎勝彦ガバナー補足 GLT としては各 R で指導力育成の研修はほぼ完了。新入会員研修は後期の方で行いたい。各クラブでできているのか把握できていない。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

何か研修予定を聞いているか？MD336 の研修は？今年度 LCIP と ALLC があります。第 3 回のガバナー協議会で発表したい。

山崎勝彦 A 地区ガバナー

講師資格のある方を教えてほしい。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

講師資格取得者は MD で 10 名いる。名簿を作成している。MD 内で活用していただきたい。何かご意見は？

真鍋隆 GMA 世話人

四国で研修の結果のお話をします。入会しやすかった。やっていける気がした。居心地が良かった。こんなにお金がいるとは思わなかった。話が進まない。など良い点悪い点があった。大きなクラブが多く、風通しが良く会員が増えている。次のリーダーを作る努力をしないとけない。若い会員と長老の会員とのすり合わせが必要。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

FDI と LCIP の受講をお願いし MD で講師をお願いしたい。

中島繁 GST 委員長・D/宇部かたばみ

あまり活動できていないが、眼鏡リサイクルの活動をしている。皆さんにお願いをしたい。

占部 GST 副委員長・C・福山松永

11 月に思いやりアワードの推薦決定・B 地区の津山朱楽ライオンズ。ピースストックが広島で開催、今後長崎、沖縄東、東京などで開催が決定している。

三口 C 地区ガバナー

ピースストック入場者数 12000 人。クラブ参加数、340 名レモネードスタンドが寒くて振るわなかった。この先 10 年決まっている。次長崎、沖縄、東京で決まっている。MD が協力して展開すればよいと思う。広島は大成功に終わった。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

ピースストックは大成功に終わったと思う。社団にも伝えている。ますます拡大して展開が出来ればと思う。

榎本明第二副地区ガバナーB・総社雪舟

岡山総社と福島県の田村ライオンズクラブと友好クラブであり、55周年に参加した。被災の現状を見て一口5000円の拠出した。被災したクラブに館員増強ができていて、驚いた。定年退職者が多く休会していた。そういう増員の仕方がある。イベントにみんなで行って、活動し、ライオンズのアピールをし会員増強につなげる。地域のイベントに参加。大会防止に努める。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

丁寧に説明をして退会防止に努めることが必要。融和を持って臨むことが必要。

西本義弘第二副地区ガバナーC・広島

数字を見ると8年間減り続けている。各クラブにアドバイスをお伝えして頑張ることが必要。

鵜飼恵美 MD SCP・FWT コーディネーター C・広島紅葉

支部数は現時点で、A地区11支部B地区14支部C地区18支部D地区7支部

D地区の宇部での研修で学生会員、企業内クラブの話をした。

他地区から学生会員が自ら申し出て入会をしてくれた。何れは元の親クラブに返したい。パワーが大きい。レオクラブはクラブのお世話をしているが、卒業したら学生会員として入会を募る。山田PIPが企業内クラブを病院で看護師さんと結成している。福利厚生で支部を結成。アンケートを取り、ノンライオンはライオンズに入りたい意見が多いので、こつこつと地道に努力したいと思う。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

一応一通り終わりました。皆さんに意見を求めたい。支部についてお聞きしたい。クラブ支部は5名で結成できるので結成しやすいが解散も多い。複数の支部でエクステンション出来ていない。

石井義男・A第一副地区ガバナー

GMT・GAT・GMA・クラブ会長等連携が取れるのはZCである。一つのチームを作って、ひざを交えて一つのチームを作ってエクステンションすれば良い。

上原正樹B第二副地区ガバナー

7年前GMTコーディネーターをしている時に、支部をたくさん作った。支部同士のかかわりが強かった。そういうことが必要。支部会員はご子息などが多かった。支部を作った時には将来像が浮かんでこなかったのが、支部の解散につながったのではないかな？

鳴戸大二C・第一副地区ガバナー

支部の問題は複雑で、自クラブも難しい。どういう趣旨で支部結成が明確に伝わっていない。将来的にどういう方向に向かっているかを理解し、各クラブに伝えることが必要。一時的な人数合わせではない。将来のビジョンを示す。先々エクステンションをしていく。新しいクラブを作っていく目標を持ちながら同時に自分たちも一緒に成長していく必要がある。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

支部についてご意見を第二副地区ガバナー

向A第二副地区ガバナー

辞めるときに一気にやめる心配がある。業種別に結成。支部会費で親クラブに入れてはどうかな？

西本義弘C第二副地区ガバナー

意見はありません。正式な会員を入れることができないので支部会員を増やすのはどうかと思う。支部の中身について精査して納得させること。それより正会員を増やしたほうが良いと思う。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

支部が問題になるのは？当時と今の違いは？

榎本明 B・第二副地区ガバナー

第1号は岡山クラブのさくら支部、2号が元所属クラブの絆支部は今もある。絆支部は震災クラブの福島県田村クラブの支援活動に協力したい。親クラブ日は入会は難しいと言う事で、支部として結成できた。支部は奉仕がしたい人が集まると思う。支部の目的は純粋に奉仕ですぐに集まってくれるのが支部だと思う。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

目的は奉仕活動だと思うが、336MD今はそれがぼけてきている。やることができていないとクラブはうまくいかない。クラブのゴタゴタがあるとダメになる。やることをやるとクラブは続く。アラート委員会の人たちは結束力が強い。目的が同じなら続くと思う。会員も増えると思う。これからのMDも良い流れを作らないといけないと思う。
全国アラートフォーラムが来年の2月3日にありますのでよろしくお願いいたします。

藤井信英 B 地区ガバナー

来年2月3日にアラートフォーラムに変更されました。

約500名の参加予定のつもりです。

内容については水害等、被災をされたメンバーにデスクッションの予定。学生など多くの人にも参加してもらう予定。三口がバナーよりのご厚意で発電機の簡単な社協との締結式を予定MDでは250名を予定。

A50名 B100名 C50名 D50名の予定。場所は岡山市民会館 懇親会場岡山グランビアホテル
参加費2000円 懇親会費8000円 同期がバナーには参加要請をしている。

MDからスプレッドシートで各自で参加を希望。

キャンセルは2月1日までできる。フォーラム終了後に、請求書を送るので取りまとめて振り込む形をとる。

澤辰水 MD 議長

日本 Lions の理事会で35地区に請求することに決定

鵜飼恵美 MDSCP・FWT コーディネーター

病院内のクラブ支部はアラートで避難所で健康管理のお手伝いをするというお願いをしている。特典会員のご理解をお願いいたします。

R6年1月1日から、特典会員は施行される。代議員の数には入らない。

池原堅 MD/GMA・GMT 委員長

ライオンズ必携61版が間もなく発行される。336MDマニュアルも発行される
次回の開催は3か月後に決定します。

藤井信英 B 地区ガバナー

閉会の挨拶 長時間お疲れ様でした。支部の重要性ですが、数合わせの支部はいらない。
自クラブで次世代を担う人を増やすことが大切だと思う。

議事録署名人

336 複合地区ガバナー協議会議長 澤 辰水
承認年月日：2024年1月9日

336 複合地区 GMA コーディネーター
336 複合地区 GMT コーディネーター 池原 堅
承認年月日：2023年12月27日

336複合地区会員移動状況表(2023-12-31)

District	State or Country	Total Clubs	New Clubs	Dropped Clubs	Reorg Clubs	Status Quo Clubs	Charter Members	新会員	復帰メンバー	転籍メンバー	Total Mbr Added	Total Mbr Drop	Total Mbr Status Quo	Total Membership	Gain/Loss Fiscal Period
336 A	JAPAN	135						225	2	3	230	211		5,047	19
336 B	JAPAN	82		1			1	101		3	105	90		2,381	15
336 C	JAPAN	78		1			1	122	1	3	127	104		2,810	23
336 D	JAPAN	84						107		6	113	103		2,616	10
	TOTALS:	379	0	2	0	0	2	555	3	15	575	508	0	12,854	67

336複合地区 会員拡大報告書 (2023年12月末現在)

336複合地区GMA世話人 真鍋 隆
(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度	5,177	2,461	2,858	2,629	13,125
2022-2023年度	5,028	2,360	2,787	2,606	12,781
2023-2024年度					
前年度期首比	-149	-101	-71	-23	-344

四半期会員増強計画 期間：2023年7月1日～2024年6月30日

(単位：人)

	A地区 山崎 勝彦		B地区 藤井 信英		C地区 三口 巖		D地区 山崎 もとみ		336複合地区 合 計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	150	135	70	76	90	93	80	72	390	376
退会見込み者数	100	128	50	47	50	38	50	60	250	273
10月～12月	150	95	60	29	80	34	70	41	360	199
退会見込み者数	100	83	50	43	70	66	50	43	270	235
1月～3月	150		50		80		60		340	0
退会見込み者数	100		50		70		50		270	0
4月～6月	105		50		80		60		295	0
退会見込み者数	120		70		90		70		350	0
会員増強計画 計	555	230	230	105	330	127	270	113	1,385	575
退会見込み者数 計	420	211	220	90	280	104	220	103	1,140	508
会員純増目標 合計	135		10		50		50		245	

会員拡大計画に対する方法

A地区ガバナー 山崎 勝彦	各単一クラブが、年度末に純増1名を達成できるようにガバナーチーム、GATチームがRC・ZCと情報共有し会議を開催している。 又、会員の種別を活用して入会及び退会防止に努めています。
B地区ガバナー 藤井 信英	会員増強の為に退会防止に力を入れています。その為には会員同士の交流が不可欠と考え、今期はニューメンバースクール岡山2回、鳥取2回の計4回開催し終了後には懇親会を開催します。すでに2回開催しましたが懇親会の参加者も6割以上の方が参加してくださり好評でありました。 また来年早々にライオンズ交流会も開催を予定しています。あと6月での退会者をできるだけ防ぐため全リジョンに訪問し退会防止のお願いに参りたいとも思っています。
C地区ガバナー 三口 巖	地区内全クラブ（79クラブ）GMA目標を定めRC・ZCに地区ガバナー諮問委員会で取組み及び進捗状況を確認させ目標達成に向けて取り組んでいる。また、現在地区内では4つのクラブ支部結成に向けて進んでいることを把握しており、地区GATガバナーチームでサポートしている。退会者・解散の防止と会員満足度向上に向けて、地区委員会が中心となり新たなアクティビティ"PEACE STOCK 78"HIROSHIMA"にて、地区内賛同クラブ合同アクティビティとして6つの奉仕活動を地区内44クラブ・約300名の参加予定で開催に向けて取り組んでいる。
D地区ガバナー 山崎 もとみ	1. 公式訪問に同行し、各クラブへ支部結成のお願いをした。 2. 支部結成の手引書の作成、HPにUPした。 3. 11/19 GLTと合同で支部結成を含む会員増強の研修会を予定。 4. 退会防止に向けて各クラブへの会員満足度調査の依頼予定。
336複合地区 GMA世話人 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ会員委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2023年12月末現在 国際本部集計

* 増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	(%)	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	185	1	2	-1	5,175	258	422	-164	(-3.07%)	3,760	1,413	27.3%	1,063	20.5%	352	711	4,112
330-B	141	0	0	0	3,435	139	91	48	(1.42%)	2,871	564	16.4%	294	8.6%	89	205	3,141
330-C	66	0	0	0	1,630	65	53	12	(0.74%)	1,363	267	16.4%	185	11.3%	71	114	1,445
330MD	392	1	2	-1	10,240	462	566	-104	(-1.01%)	7,994	2,244	21.9%	1,542	15.1%	512	1,030	8,698
331-A	71	0	0	0	2,380	113	89	24	(1.02%)	1,936	443	18.6%	293	12.3%	62	231	2,087
331-B	72	0	0	0	2,011	60	91	-31	(-1.52%)	1,657	352	17.5%	257	12.8%	37	220	1,754
331-C	43	0	0	0	1,507	88	48	40	(2.73%)	1,215	291	19.3%	235	15.6%	62	173	1,272
331MD	186	0	0	0	5,898	261	228	33	(0.56%)	4,808	1,086	18.4%	785	13.3%	161	624	5,113
332-A	62	0	0	0	1,977	81	56	25	(1.28%)	1,503	474	24.0%	328	16.6%	71	257	1,649
332-B	49	0	0	0	1,833	111	79	32	(1.78%)	1,209	624	34.0%	598	32.6%	104	494	1,235
332-C	55	0	0	0	1,540	65	40	25	(1.65%)	1,111	429	27.9%	343	22.3%	74	269	1,197
332-D	66	0	0	0	2,183	103	67	36	(1.68%)	1,655	528	24.2%	442	20.2%	97	345	1,741
332-E	49	0	1	-1	1,640	73	48	25	(1.55%)	1,299	341	20.8%	249	15.2%	43	206	1,391
332-F	45	0	0	0	1,231	29	37	-8	(-0.65%)	882	349	28.4%	291	23.6%	54	237	940
332MD	326	0	1	-1	10,404	462	327	135	(1.31%)	7,659	2,745	26.4%	2,251	21.6%	443	1,808	8,153
333-A	69	0	0	0	2,674	94	102	-8	(-0.30%)	2,260	414	15.5%	223	8.3%	70	153	2,451
333-B	46	0	0	0	1,396	25	59	-34	(-2.38%)	927	469	33.6%	381	27.3%	102	279	1,015
333-C	105	0	0	0	2,686	120	85	35	(1.32%)	2,075	611	22.7%	344	12.8%	120	224	2,342
333-D	47	0	1	-1	1,790	79	51	28	(1.59%)	1,346	444	24.8%	378	21.1%	86	292	1,412
333-E	80	0	0	0	3,930	140	163	-23	(-0.58%)	2,845	1,085	27.6%	1,060	27.0%	324	736	2,870
333MD	347	0	1	-1	12,476	458	460	-2	(-0.02%)	9,453	3,023	24.2%	2,386	19.1%	702	1,684	10,090
334-A	105	0	0	0	5,114	241	157	84	(1.67%)	3,557	1,557	30.4%	1,434	28.0%	287	1,147	3,680
334-B	71	0	0	0	3,537	142	93	49	(1.40%)	2,657	880	24.9%	919	26.0%	212	707	2,618
334-C	71	0	0	0	2,839	131	80	51	(1.83%)	2,469	370	13.0%	269	9.5%	44	225	2,570
334-D	91	0	0	0	4,408	150	197	-47	(-1.05%)	3,196	1,212	27.5%	1,112	25.2%	181	931	3,296
334-E	47	0	0	0	2,144	81	147	-66	(-2.99%)	1,553	591	27.6%	490	22.9%	104	386	1,654
334MD	385	0	0	0	18,042	745	674	71	(0.40%)	13,432	4,610	25.6%	4,224	23.4%	828	3,396	13,818
335-A	67	1	1	0	1,678	115	73	42	(2.57%)	1,347	331	19.7%	83	4.9%	19	64	1,595
335-B	146	0	3	-3	6,308	288	339	-51	(-0.80%)	4,475	1,831	29.0%	1,462	23.2%	317	1,145	4,846
335-C	101	1	0	1	3,612	238	139	99	(2.82%)	2,975	636	17.6%	290	8.0%	61	229	3,322
335-D	54	0	0	0	1,570	54	38	16	(1.03%)	1,295	274	17.5%	158	10.1%	39	119	1,412
335MD	368	2	4	-2	13,168	695	589	106	(0.81%)	10,092	3,072	23.3%	1,993	15.1%	436	1,557	11,175
336-A	135	0	0	0	5,047	230	211	19	(0.38%)	3,894	1,152	22.8%	711	14.1%	144	567	4,336
336-B	82	0	1	-1	2,381	105	90	15	(0.63%)	2,000	375	15.7%	193	8.1%	39	154	2,188
336-C	78	0	1	-1	2,810	127	104	23	(0.83%)	2,315	495	17.6%	296	10.5%	52	244	2,514
336-D	84	0	0	0	2,616	113	103	10	(0.38%)	2,300	315	12.0%	105	4.0%	12	93	2,511
336MD	379	0	2	-2	12,854	575	508	67	(0.52%)	10,509	2,337	18.2%	1,305	10.2%	247	1,058	11,549
337-A	112	0	1	-1	4,483	182	207	-25	(-0.55%)	3,287	1,192	26.6%	762	17.0%	149	613	3,721
337-B	60	0	0	0	2,160	90	68	22	(1.03%)	1,758	403	18.7%	249	11.5%	41	208	1,911
337-C	73	0	0	0	3,017	112	99	13	(0.43%)	2,148	869	28.8%	812	26.9%	224	588	2,205
337-D	68	0	1	-1	2,100	90	121	-31	(-1.45%)	1,683	416	19.8%	262	12.5%	58	204	1,838
337-E	52	0	0	0	1,680	63	38	25	(1.51%)	1,364	315	18.8%	232	13.8%	72	160	1,448
337MD	365	0	2	-2	13,440	537	533	4	(0.03%)	10,240	3,195	23.8%	2,317	17.2%	544	1,773	11,123
総計	2,748	3	12	-9	96,522	4,195	3,885	310	(0.32%)	74,187	22,312	23.1%	16,803	17.4%	3,873	12,930	79,719



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

(2023-2024 年度)

第 3 回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時： 2023 年 10 月 19 日 (木) 10:00 - 12:00

◎システム： ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長 田名部 智之 (八戸 LC)

委 員 長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総 LC)

副 委 員 長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田 LC) 【欠席】

専 務 理 事

増澤 義治(諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂 LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東 LC) 【欠席】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西 LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城 LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央 LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松 LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。

日本ライオンズとしても過去の問題を整理整頓している最中。会則委員会はかなり重要な位置を占めており、方向性を付けてもらい指針としたい。

社団のプロトコールについても O S E A L 調整事務局からの意見もあり、このようにさまざまなことを小さいところからきちんと決めないといろいろな誤解が生じる。皆様の力を借りて今年度中にいろいろなことを方向付けていきたいのでよろしくお願いします。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

MD333 岩沼委員長・MD335 小林委員長が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

- ・前回からの審議事項等が確認される。
- ・コンプライアンス委員会について、運営は総務人事委員会とし、会則委員会ではルール等整備していくことが第 4 回理事会にて確認されたことが報告された。

2. 2023-24 年度 『役員必携』 発行について

進捗状況の確認が行われ、現在のところ当初のスケジュールから遅れがないことが確認された。

松本委員長

：2024-2025 年度版は来年 4～5 月頃に次年度クラブ三役に向けて発刊したい。

大きな変更点はないようですが、今年度発行後検討を加え新バージョンで制作したい。

新バージョンではライオンズクラブとしての社会規範・禁忌事項（現在の必携 P 1 2 8 掲載）を



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

充実させ、コンプライアンス委員会の基本となるものをまとめて、新役員必携に掲載していきたい。各地区において、会則委員会がこれらの事項を周知徹底させて頂きたい。

MD335 小林委員長

：ファインとドネーションについて、30～60 万円をクラブ事業費に計上するが、運営費が足りなくなった場合は、それを運営費に回している場合がある。

金額の大きさにより発言権が大きくなりがちであり公平性が保たれず、役職者のドネーションが大きくなるが多いため、新会員が役職に就く前に退会する事例がある。ファインとドネーションの在り方についてきっちりと線引きをするよう発信が必要ではないか。

松本委員長

：基本的な考えを見直していただくことが必要ではないかと思う。ドネーションの在り方については当然のことであるので現在掲載はないが、コンプライアンス関係の事項に掲載してもいいのではないか。以降検討していく。

3. ライオンズ必携発行について

- ・第 6 1 版発行へ向けて

松本委員長

：ライオンズ必携・役員必携の色は、共にライオンズカラーに立ち返り、紺（ブルー）にします。

ライオンズ必携は規則が中心となったもので、国際会則・付則はボストン国際大会での変更箇所を更新。

標準版クラブ会則は LCI のデータを掲載。変更点はそのまま掲載する。

割引会員（二人目以降の家族会員・学生会員・レオ会員）は、123P の準会員と名誉会員の間に位置し、代議員数にカウントされない。

割引会員の複合・地区会費は従来通りで良いのではないか。地区によっては考え方が異なることもあるので意見を聞きたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

田名部理事長

：各複合地区の協議会議長の意見をまとめた結果、一般社団法人日本ライオンズでは、割引会員（レオ会員は今後まとめる）の社団への賛助会費を無料にする方向に向かっている。8複合地区で統一性があり混乱が生じにくいとの理由。

MD335 小林委員長

：団体に所属している限り、義務と責任がある。なぜ無料の方向に向いているのか理解に苦しむ。

割引会員の名称のイメージが悪い。変えてほしいと複合から意見が出ている。

松本委員長

：正会員なのに割引会員ではちょっと引いてしまうかも。

MD336 松岡委員長

：英語の直訳（ディスカウントメンバー）と思うが、どこで決めたのか。正会員で集めたのに、今更割引会員では気分を害されるのでは。

松本委員長

：スペシャリティークラブがあるように、スペシャル会員はどうでしょうかね。今後どう対応するか。将来的には名前を変えても良いのではないかと思います。

ライオンズ必携に、複合地区複合地区会則では、LCIで変更した個所を反映する。

1～2月発行の予定。それに向けて準備をします。皆様方にも考えていただく。

複合地区会則は、国際会則と標準地区会則を反映させたものをたたき台にします。

166P 国際理事候補者選挙手続規則を今一度見直さなければならぬので、次回委員会で検討したい。

172P オセアルガイドライン（国際理事に立候補するためのオセアル地域の中で決められたガイドライン）についても検討をしたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

田名部理事長

：国際理事候補者資格審査委員会については、昨年度の期中に名称と役割が変更になった。ルールが変わったり、理解できてなかったりすれば委員会参加者が戸惑ってしまうので、スムーズに決議できるようにガイドラインや周知等、態勢を整えて頂きたい。

松本委員長

：クラブ必携の変更において、名称変更・資格審査委員会等が反映されていないので、どう反映させるか。

次回の委員会で深く検討したいので、ライオンズ必携をご熟読の上、皆様方のより深いご意見の発表をお願いします。

199P プロトコールは理事会 LCI 方針書のとおりにします。

257P 歴代地区ガバナー・議長・国際理事の変更をピックアップし、新しい役員を反映する。役員必携が出来上がったらご自分の地区の部分の確認をお願いします。

MD335 小林委員長

：歴代地区ガバナーが必携に掲載することが必要なのか。役員については大切な歴史なので、日本ライオンズ・複合地区事務局・準地区事務所にそれなりの形で保管すればいいのではないかな。

松本委員長

：年度ごとの議長・ガバナーについては複合・地区の事務方が必要とされている。なおガバナーは役員必携でも確認が可能。

最新版で追加された略語集については、引き続き掲載予定。

MD336 松岡委員長

：必携に複合地区会則標準版地区会則が掲載されているのに、準地区標準版会則・付則が掲載されていないのは何故か。LCI の Web 上では標準地区会則が載っている。もし理由等がわかればお聞きしたい。

松本委員長



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

：掲載がない理由について詳しくは不明。複合地区会則に準じて準地区が運営されている。

MD333 岩沼委員長

；自分の場合は、役員必携の『地区について』を参考に運営を行った。

松本委員長

：複合地区会則も全会員に対しては、掲載しなくても良いのではないかと議論も成り立つ。複合・準地区の会則を削除・追加との議論ではない。会則などは、すべからく Web 上に挙げてしまっても良いのではないかと。必携は薄く読み易く。

国際会則・複合会則・地区会則等々については、現在用が足りている。

MD332 荒川委員長

：年表は必携には必要無いと思う。分厚過ぎて会員が読まないのではないかと。やはり Web 上に残しても良いのではないかと。

MD334 野村委員長

：複合会則の中には、地区会則が網羅されているので、地区会則を重複して載せる必要は無いように思う。

MD337 高野委員長

：全体の流れは難しいように思う。ライオンズの集団なので、もう少し簡単に奉仕が出来るような状況を望む。

MD335 小林委員長

：時間はかかると思うが若い世代のメンバーが増えるような素地を作っていくことが大切。

・コンプライアンス委員会について

松本委員長：

次の役員必携にてまとめ上げたいと思いますので、次回開催までに皆様の考えをまとめ、次回委員会にて発表して下さい。

田名部理事長



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

：昨年度からの引継ぎ事項のコンプライアンス委員会については総務人事委員会の中で運営することとなった。禁忌事項やルールなど、今年度会則委員会で議論していただきたい。

コンプライアンス委員会立ち上げのきっかけの一つとして、昨年度、一部の規約引用のみで他の会員を追及するといったことや、会員同士の紛争が複合・地区を越え、日本ライオンズへ相談が寄せられることなどがあった。

禁忌事項を守り会員同士が納得しておけばそれで済んだ。

項目を増やす、わかりやすくするなどして、文字通りしてはいけないことを明確にし、注意を促す。ライオンらしからぬ行動などを、必携に載せて、会員全体に周知していく。皆様の合意をもってルールを作っていきたいと考えている。

松本委員長

：ライオンズ必携にも友愛と相互理解の精神について書かれており、重要なテーマである。しっかりしたルールの作成と周知徹底を行う方向で進める。禁忌事項について各自の立場で見直しをいただき、次回会議にて発表をしていく。

4. その他

MD334 野村委員長

：(ボストン国際理事会決議事項について) 地区GATメンバーと地区LCIFコーディネーターについてキャビネット構成員として投票権を与えることになったとあるが、複合での決議は必要か、それとも周知のみで問題はないか。

松本委員長

：決議は必要ないと思われる。

MD334 野村委員長

：現在、正会員と2人名以降の家族会員は別に集計をしていると思うが、割引会員の制度の後、集計方法は変わらないか。

松本委員長

：従来と同じで問題はないと思われる（会員種別を発表する）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<ここに通し番号>

田名部理事長

：冒頭でお話ししたが社団役職者の立ち位置について、日本独自のプロトコールとして整理をお願いしたい。

理由としては複合・地区・OSEAL調整事務局より、国際役員来日の際など、席次や順番の決定に困ることがあり、トラブルを避けるためにも決めて欲しいと要望がある。

例として、理事長・副理事長・専務理事・監事・監査・前理事長あたりまでのプロトコールをどこに置くかをご協議いただきたい。

松本委員長

今年度中に協議したい。社団は8複合議長のサポート的な存在であるが、社団の立ち位置の見直し等を含め、整理することが必要だと思われる

田名部理事長

日本以外に複合地区が複数ある場合、ほとんどの国で社団のような組織・事務局を持っており、複合・議長を色々な形でサポートしている。そのため海外から来た方が社団の存在に異議や疑問を持ったりすることはない。他の国では元議長が運営に関わっていることがあり、プロトコールも元議長としている場合があるので、そのあたりに位置付けられれば良いかと思う。

松本委員長 重要性を理解し、継続審議としていく。

・次回開催予定について

第4回会則委員会 11/24（金）10:00-12:00 WEB

第5回会則委員会 12/11（月）15:00-17:00 日本ライオンズ事務局

⑤ 閉会挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

2023年10月19日

議事録作成人

MD333 会則委員会委員長 岩沼 忠伺

MD335 会則委員会委員長 小林 寛

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

(2023-2024年度)
第4回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日時：2023年11月24日 (金) 10:00～12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：各複合地区会則委員長：

理事長 田名部智之 (八戸LC) 330複合地区会則委員長
細川孝雄 (東京赤坂LC)

委員長 (MD333協議会議長) 331複合地区会則委員長
松本宰史 (南房総LC) 馬場哲也 (函館東LC)

副委員長 (MD335協議会議長) 332複合地区会則委員長
中谷豊重 (岸和田LC) 荒川友成 (郡山西LC)

専務理事 333複合地区会則委員長
増澤義治 (諏訪湖LC) 岩沼忠伺 (千葉ネオLC)

334複合地区会則委員長
野村善弘 (岡崎竜城LC)

335複合地区会則委員長
小林 寛 (姫路中央LC)

336複合地区会則委員長
松岡 鯨 (福山久松LC)

337複合地区会則委員長
高野正勝 (佐賀葉がくれLC)

- ① 開会宣言
松本会則委員長より開会宣言。
- ② 一般社団法人日本ライオンズ理事長挨拶
今期、会則委員会において役員必携及びライオンズ必携61版の制作がここ数年で一番スムーズに進行しており、委員会の皆様にはご負担をお掛けしておりますが、ライオンズの為になっており、やりがいのある一年になっていると思います。
各複合地区を訪問し、各地区ガバナー・各メンバーとお話をさせて頂いた中で、日本ライオンズの立ち位置・地区ガバナーとしての役割・複合出向者の権限 等々が伝わっていないを確認しました。
今後、メンバーの皆さんの声を各委員会に繁栄させていきたい。
来月の委員会は、対面開催する様ですので楽しみにしております。
- ③ 出席者の確認
別紙資料確認願います。
- ④ 議事録作成人の指名
MD331 馬場委員長・MD334 野村委員長が指名された。

議案：

1. 前回議事録の確認
松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。
 - ・前回審議事項が確認される。役員必携の発行について完結（次期役員に2024年4月発行予定）
ライオンズ必携の進捗状況について。
コンプライアンス委員会の現況報告。
その他・会員種別（割引会員～特典会員へ名称変更について報告）
次回委員会開催は、東京にて対面と致します。
2. 田名部理事長からの諮問事項の件について
田名部理事長
 - ・家族会員、特典会員（旧訳：割引会員）について
国際本部に変更して頂いたので、国内では落ち着きました。
 - ・社団構成員のプロトコールにつて
プロトコールは、理事会において決議された。理事長のみを記載する。松本委員長
プロトコール表を説明し、1年と1日同じクラブの部分を強調され
皆さんからご意見を問う。
皆さんは、特になかった。
3. 前回からの継続議題について
 - ・コンプライアンス関係、禁忌事項について松本委員長
役員必携P125、皆さんからご意見を問う。
小林委員長
ライオンズ組織の存在理由、人間性、インテリジェンス等を再確認し、ライオンズ全体で考えることではないのか。
松本委員長
おっしゃる通りで、地区リーダーとして襟を正し、ステータスと自覚が必要で、会則委員会のみならずGLT（指導力育成）研修との連携が必須で、今後の課題です。
岩沼委員長
禁忌事項を前面に出し、学ぶことが必要。
田名部理事長
335地区に訪問の際、社団の行っていること（責任・権限などについて）ライ

オンズ必携を読んでもよくわからないので、社団としても勉強会を是非開催して頂きたいとの意見がありました。

松本委員長

複合地区の目的は情報の共有が第一であり、8複合のリーダーが理解し地区へ持ち帰り、伝えて説明することが大事です。

特に、言わないと聞かないと分からないのが会則です。

荒川委員長

先般、332MDにて簡単に説明したところ、役員必携を持っていないメンバーが多数おり驚愕しました、又、ライオンズ必携は毎年同じだから必要ないという意見がありましたが、やはり全員が必携を取得し携帯して頂くことが必須である。

松本委員長

ライオンズ必携は、毎年変わっているので全メンバーに取得させる。

特に、地区運営の会則部分が相当変わっているので毎年取得は必須。

岩沼委員長

20年前のライオン誌に、諸先輩の経験談の記載が多くありました
自分も随分勉強になりましたので、又復活させて頂きたい。

4. ライオンズ必携第61版発行について

松本委員長

グラ版が遅れておりますので、後日皆さんにはPDFで送信致します。
スケジュール確認され、初校が11月24日現在、届いてませんので一週間ほどずれる可能性があり、ページ数の確認等々時間的にタイトなる予想、部数アンケート調査開始し今回65,000冊・≒924万見積
前年度より10%の値上げもあり、60版では¥200でしたが61版は¥220で、理事会に提案する予定。

出来れば、全会員及び新入会員の分も購入して頂きたい。

増澤専務理事

今回、構成を委員会メンバー8名で間に合うのか疑問？間違いがあった場合の責任は？各地区に落として確認させて頂きたいのでは？

皆さんに確認頂きたい。

中谷委員長

地区に一度確認した方がよい。

年表のガバナーリストを除いたのでしょうか。

松本委員長

役員必携に記載されているので、必携をより薄くする為にも年表のガバナーリストを除き、今後ウェブ版に掲載する予定です。

増澤専務理事

ガバナー名が無くなると苦情があると思いますし、除いた理由の一致が必要
逆にライオンズ必携の方に、ガバナーリストが必要では？

小林委員長

それなら、何の為の委員会なのか意味がないのでは。

個人の感情で潰されるのは大きな問題である。

責任の問題ですが、委員会の立場からすると責任は取れません。

増澤専務理事

慎重に進めて頂きたい事と、責任はないと思いますがクレームがあるのでは？

その辺を、丁寧に進めて頂きたい。

岩沼委員長

年表があると厚くて、ポケットに入らないので無くてよい。

荒川委員長

年表無くてよい。

馬場委員長

年表無くてよい。

今迄、構成確認は業者がしていたのですか？

松本委員長

基本、事務局員が確認していた。

野村委員長

年表無くてよい。

松岡委員長

スケジュールに問題があり、各複合に意見を問うと収拾が付かなくなる。

年表はどちらでもよい。責任問題は複合で受け止める。

高野委員長

まだ、勉強させてください。

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では、特典会員ですか。

松本委員長

ポケット版は全て、特典会員に変更します。

年表を削除して50ページ減りますが、標準版地区会則が抜けていたので

複合会則第2章がボリュームアップされましたので、さほど減らない。

年表削除を地区に確認するかどうか！賛否を取る。

確認を取らない事を賛成多数可決。

松本委員長

ライオンズ必携第61版 主な改訂箇所一覧を説明される。

※なぜ改定が必要なのか！ミッション1.5を実行する為の権限を有する。

P13

彼→その人。

P31,32

目的 大きく変更。

P51

削除。

P74

地区ガバナー（より明確に、MDに説明要）

P88

会員種別最後(g.賛助会員)に次ぎに(h.特典会員)追加

P139

複合地区の目次を付けた。

P140

第3条 構成。

P144

第6条 複合地区年次大会（国際理事候補者資格審査委員会規則に変更）MD年次大会にて決議必要。

P149

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）各キャビネット承認必要。

P154

第16章 各地区コーディネーターに投票権が与えられる。

P155

第17章 PR→マーケティング・IT→テクノロジー。

第19章 解任が新たに追加された。

P164

〇〇〇複合地区第〇〇回年次大会議事規則例が新たに追加された。

3. 委員会（変更）5. 審議（変更：再質問2回は超えてならない）6. 採決（変更：今まで拍手で承認でしたが挙手により過半数に変更）

P166

名称変更：国際理事候補者資格審査委員会規則（改正案）
全国8複合地区年次大会決議後有効となる。

P199

公認プロトコール

12. 一般社団法人日本ライオンズ理事長が入る。※※

※※8複合議長情報等取りまとめ役としての位置づけとする。

5. その他

新たに追加されたページ

- ・別紙：複合地区大会開催手順（例）
 - ・別紙：地区大会開催手順（例）
 - ・別紙：指名委員会チェックリスト（地区ガバナー・第一第二各候補者）
 - ・別紙：新入会員入会式参考例及び進行と次第（例）
- 以上を参考資料として追加。

松本委員長

以上ですが、ご意見ご質問ございますか？

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では混乱するのでは？

統一できないでしょうか？

松本委員長

説明が必要と思いますので、皆さんにその対応をお願いしたい。

私達の役目でないでしょうか。

馬場委員長

331MDでは、第3回1月に開催されるガバナー協議会で、各自役員必携を持参い
ただいて概略説明する予定です。

中谷委員長

P130赤文字部分ですが、国際協会はなくまで割引会員で日本ライオンズ
が特典会員となったことを付け加えが必要と思います。

小林委員長

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）キャビネット会議承認
事項ですよね。

松本委員長

キャビネット会議承認必要です。

荒川委員長

今回ライオンズ必携の重要部分が変更されておりますので、全メンバーが
取得しー読し更に、携帯して頂く事が必須です。

松本委員長

ライオンズメンバーとしての基本は、ピンバッチとライオンズ必携を携帯
して頂く事を意識につなげたと思いますので、宜しくお願い致します。

・次回開催予定について

第5回会則委員会 12月11日月曜日 15:00～17:00
日本ライオンズ事務局【対面】

⑤ 閉会挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

2023年11月24日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD334会則委員長 野村善弘

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

(2023-2024 年度)

第5回会則委員会（対面）議事要録

◎日 時： 2023 年 12 月 11 日（月） 15：00－17：00

◎会 場： 日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長 田名部 智之（八戸 LC）

委 員 長（MD333 前協議会議長）

松本 宰史 （南房総 LC）

副 委 員 長（MD335 協議会議長）

中谷 豊重 （岸和田 LC）

専 務 理 事

増澤 義治（諏訪湖 LC）

各複合地区会則委員長：

3 3 0 複合地区会則委員長

細川 孝雄 （東京赤坂 LC）

3 3 1 複合地区会則委員長

馬場 哲也 （函館東 LC）【欠席】

3 3 2 複合地区会則委員長

荒川 友成 （郡山西 LC）

3 3 3 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 （千葉ネオ LC）

3 3 4 複合地区会則委員長

野村 善弘 （岡崎竜城 LC）

3 3 5 複合地区会則委員長

小林 寛 （姫路中央 LC）

3 3 6 複合地区会則委員長

松岡 諒 （福山久松 LC）

3 3 7 複合地区会則委員長

高野 正勝 （佐賀葉がくれ LC）【欠席】

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。全複合地区の協議会議長、全準地区のガバナーと面談した。様々な意見をいただいたが、今期、丁寧に対応し解決に向けて進めている旨、説明があった。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

細川委員・松岡委員が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

時間が許せばコンプライアンス委員会についての議論を進めたい。

2. ライオンズ必携第 61 版改定について

(1) スケジュール

松本委員長から、元々の予定よりも一週間程度遅れているが、12月18日には印刷部数の集計を終えて発注する。来年1月末には配送できる予定であると説明。

(2) 発行部数

松本委員長より、昨年よりも発行部数が減少する見込みであるとの説明。

役員必携について、ライオンズ必携と間違えて注文したとの理由で多数キャンセルがあったが、次期クラブ三役研修会で再利用するとしてキャンセルを受けなかったとの事例が報告された。

(3) 変更内容の確認

松本委員長より、禁忌事項を載せるなど主な内容変更について説明。

(4) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則についての複合地区大会での承認

松本委員長より、複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則改正について、各複合地区大会で承認が必要であると説明。

(5) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則を必携に掲載することの是非

複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則の改正後の条文を必携に掲載するが、これらは来年の各複合地区大会で承認されてから効力を生じる。効力を生じる前に必携に載せることについて誤解を招くおそれがあるが、どのようにしたら良いか協議した。

協議の結果、改正条項案の最後に、「(注)」として、複合会則の改正部分については2023～2024年の各複合地区大会の閉会後に効力を生じる旨付記することとした。

(6) 国際理事候補者資格審査委員会規則について

増澤専務理事より、同委員会が「推薦」とすると誤解を招くおそれがあるとの指摘があり、これを受けて、同規則について次のとおり変更することとした。

ア 第2条の目的を「本委員会の目的は、地区及び複合地区から推薦を受けた国際理事候補者の資格を審査することにある。」

イ 第4条cの「選出、推薦」を「資格審査」

ウ 第14条を削除（以下の条項の数字を一つずつ繰り上げる）

(7) 価格について

6万部であれば220円であるが、6万部を下回れば余った印刷用紙を買い取る必要があるため、10円から20円程度値上げをしなければならない。このことについては、理事長一任ということで理事会で承認済みであると松本委員長より報告。

(8) その他

ア 松本委員長より、役員必携について次期クラブ三役研修会で各委員が講師となって説明してもらいたい、必携の変更点についてガバナーに伝達して欲しいと要望。

イ 松本委員長より、改正箇所について、ライオン誌に投稿予定であると報告。

ウ 松本委員長より、複合地区大会の議事規則を新規搭載すると説明（特に動議の取扱いについて）。

エ 中谷副委員長、荒川・岩沼各委員より、複合年次大会で決議が必要な箇所を各複合に案内してはどうか、会則の改正点について説明する次期クラブ三役研修会向けのビデオレターを作成してはどうかなど改正点について周知すべきとの意見。

オ 小林委員から、発行部数が、会員数より少ないとの問題提起。各ガバナーに、必携を購入するよう働きかけるべきとの意見。

3. 公益財団法人日本ライオンズ理事長 ローカルプロトコルの件

松本委員長より、ローカルプロトコルとして、公式プロトコルの枠外に、8 複合として一般社団法人及び公益財団法人日本ライオンズの両理事長を、複合協議会議長の上に配置したと報告。既に、理事会、社員総会を通じて、各ガバナーも承認済みとのこと。

田名部理事長より、プロトコルは、日本ライオンズが複合の上位組織であるという意味ではないこと、外国と関わる際に、日本ライオンズ理事長の扱いで混乱を招き、オセアルからも位置付けを明確にするよう要請があったこと、日本ライオンズという組織そのものに対する様々な意見があることは承知しているが、混乱を招かないための措置であり、組織についての議論とは別問題と捉えていること、この理解について各委員は各複合で説明を尽くして欲しいことが説明、要望された。

荒川委員より、公益財団法人の理事長が一般社団法人の理事に就任していること、公益財団法人の説明を聞いたが、一般社団法人が公認されていないかのような話があり理解できていないとの意見があった。これに対し、田名部理事長より、2018年11月5日に、エイミーJ．ペーニャ法律顧問から山田元国際会長宛に、一般社団法人日本ライオンズが国際協会からライオンズの名称と紋章を使用することについて許可を得ていると返答を受けており、公認を受けていないとの指摘は当たらないと説明。

・次回開催予定について

第6回会則委員会 1/22（月）10:00-12:00 WEB

⑤ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 中谷 豊重

2023年12月11日

議事録作成人

MD330 会則委員会委員長 細川 孝雄

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

2023～2024 年度
第 2 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会

議 事 録

開催日時：2023 年 11 月 22 日（水）13：00～17：00

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：REAL

出席者：次のとおり（敬称略）

役 職	氏 名
ガバナー協議会議長	澤 辰水
世話人	岡村 聖爾
委員長	松岡 諒
副委員長	一宮 昭夫
336-A 地区委員長	徳本 秀樹
336-B 地区委員長	西尾 愼一
336-C 地区委員長	鈴木 健吾
336-D 地区委員長	堀江 成
ガバナー協議会事務局運営委員長	松岡 寿一郎

司会進行：松岡委員長

議事

第 1 開会挨拶（議長）

第 2 議題

336 複合地区運営マニュアル第 21 版作成の件

次のとおりの役割を分担し、修正箇所の確認を行った。

- ①クラブについて ～ 1 1 章 鈴木 336C 委員長
1 2 章～ 堀江 336D 委員長
- ②地区について 徳本 336A 委員長
- ③複合地区について 一宮副委員長
- ④国際協会関係について 西尾 336B 委員長
- ⑤全体 岡村世話人 松岡委員長

複合地区、国際協会関係の箇所の確認が時間の関係で未了となったため、次回の委員会で確認を行う。

第 3 閉会挨拶（世話人）

○次回以降の委員会日程

第 3 回 12 月 18 日（月）午後 1 時 15 分～

議事録作成者 松岡 諒

2023～2024 年度
第 3 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会

議 事 録

開催日時：2023 年 12 月 18 日（月）13：15～16：30

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：REAL

出席者：次のとおり（敬称略）

役 職	氏 名
ガバナー協議会議長	澤 辰水
世話人	岡村 聖爾
委員長	松岡 諒
副委員長	一宮 昭夫
336-A 地区委員長	徳本 秀樹
336-B 地区委員長	西尾 愼一
336-C 地区委員長	鈴木 健吾
336-D 地区委員長	堀江 成

司会進行：松岡委員長

議事

第 1 開会挨拶（議長）

第 2 議題

336 複合地区運営マニュアル第 21 版作成の件

前回に引き続き、次のとおりの役割を分担し、修正箇所の確認を行った。

- ①クラブについて ～ 1 1 章 鈴木 336C 委員長
1 2 章～ 堀江 336D 委員長
- ②地区について 徳本 336A 委員長
- ③複合地区について 一宮副委員長
- ④国際協会関係について 西尾 336B 委員長
- ⑤全体 岡村世話人 松岡委員長

第 3 閉会挨拶（世話人）

○次回以降の委員会日程

第 4 回 2024 年 1 月 23 日（火）午後 1 時 30 分～3 時 30 分（web 会議形式）

議事録作成者 松岡 諒

一般社団法人日本ライオンズ
2023～2024 年度 第 2 回 YCE 委員会要録

◎日時 2023 年 10 月 5 日 15:00～17:00

◎開催方法 対面（日本ライオンズ事務所）

◎出席者 :

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

YCE 委員会

委員長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
-----	-------	----------

各複合地区 YCE 委員長

MD 3 3 0 副委員長	青木 秀茂	(東京吉祥寺 LC) 代理出席
MD 3 3 1 委員長	鈴木 善一	(千歳 LC)
MD 3 3 2 委員長	菊池 徳男	(北上国見 LC)
MD 3 3 3 委員長	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD 3 3 4 委員長	石本 雅之	(鯖江 LC)
MD 3 3 5 委員長	正岡 章	(吹田江坂 LC)
MD 3 3 6 委員長	蔵本 守雄	(高松源平 LC)
MD 3 3 7 委員長	岡 秀昭	(大川 LC)

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・ 吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認の上、挨拶を行った。

◎議事録作成人の指名

- ・ 委員（MD335 委員長）正岡章を議事録作成人に指名した。

◎議案

1. 前回議事録確認

前回の議事録を確認した。

各複合地区の幹事旅行社の確認があり、各複合とも 1 社とのこと。

2. 各複合地区より冬期交換予定について

MD 3 3 0	派遣：マレーシア 3 名、ニュージーランド 1 名
	受入：シンガポール 1 名

MD 3 3 1	派遣・受入なし
----------	---------

- MD 3 3 2 派遣受入予定なし
- MD 3 3 3 派遣：メキシコ 3 名、マレーシア 5 名
受入：メキシコ 3 名、シンガポール 2 名
- MD 3 3 4 派遣：ドイツ 4 名、イタリア 7 名、マレーシア 4 名、
ニュージーランド 1 名
受入：ドイツ 5 名、イタリア 8 名
- MD 3 3 5 派遣：マレーシア 6 メイ、ニュージーランド 2 メイ
ドイツ 1 名、イタリア 1 名
受入：マレーシア 1 3 名
- MD 3 3 6 派遣・受入なし
- MD 3 3 7 派遣：シンガポール 9 名
受入：シンガポール 3 名

3. 今回問い合わせのあったニュージャージー州の窓口は 3 3 2 とし、インドは 3 3 5 とする。

◎夏期交換について現段階の計画確認

- MD 3 3 0 夏期春期合わせて、派遣 5 2 名、受入 5 7 名の予定
- MD 3 3 1 窓口 3 ヶ国と 1 0 月中にコンタクトを取り、調整する。
- MD 3 3 2 窓口として活動する。
- MD 3 3 3 夏期に 2 5 名でのユースキャンプを予定。
ハンガリーとの派遣受入各 1 名を予定。
- MD 3 3 4 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 5 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 6 窓口の台湾と派遣受入とも 8 名の予定。
- MD 3 3 7 窓口のシンガポールと派遣受入とも 8 名の予定。

◎ユニフォーム新調について

フジマキネクタイとグローリーシバタ 2 社からの提案に対し、フジマキネクタイの方を採用する。

布地ベストでカラーは白地に赤の縁ライン、胸に赤の YCE ロゴ、背に赤地に白抜きの YCE ロゴを入れ、JAPAN のロゴも入れる。

生地が 3 種類あるので、サンプル作成後に決定する。

◎次回委員会の開催について

1 1 月 2 4 日 1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 に WEB 開催。

以上

(2023-2024)一般社団法人日本ライオンズ

第三回 YCE 委員会 議事録

開催日時: 2023 年 11 月 24 日(金) 13:30～16:00

開催場所: リモート Web 会議(Zoom)

参 加 者: 一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
YCE 委員会		
委 員 長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
副委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
各複合地区 YCE 委員		
330 複合地区委員長	ベイリー 久美子	(加須 LC)
331 複合地区委員長	鈴木 善一	(千歳 LC)
332 複合地区委員長	菊池 徳男	(北上国見 LC)
333 複合地区委員長	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
334 複合地区委員長	石本 雅之	(鯖江 LC)
335 複合地区委員長	正岡 昭	(吹田江坂 LC)
336 複合地区委員長	蔵本 守雄	(高松源平 LC)
337 複合地区委員長	岡 秀昭	(大川 LC)

次第による出席者確認と進行を一般社団法人日本ライオンズ YCE 吉村委員長が行った。

挨拶

一般社団法人日本ライオンズ田名部理事長より 11 月 21 日の実務者会議の問題点など解決して行きライオンズ発展に寄与したいと挨拶。

議事録作成人の指名

MD331 委員長の鈴木善一を指名した。

議 題

1. 10 月 5 日開催の議事録に関して確認した。

2. ユニフォームについて

前回フジマキネクタイに発注決定し、添付の変更写真の内容で承諾した。

正面国旗の囲いを鮮明にしてほしい意見もあった。

費用については MD333 藤川委員長にて交渉し各委員長に直接連絡することになった。(交渉にあたり各 MD に後日想定枚数を確認する。)

※発注方法に関しては、各複合地区で取りまとめ→日本ライオンズへ注文する。

納品に関しては、フジマキネクタイ→各 MD 宛て直接発送とする。

田中副委員長からは、春季タイへ間に合うようにほしいと要望あり。

3. 冬季交換の情報共有及び最終調整

来日生に関してはマレーシア 13 名・メキシコ 3 名・イタリア 6 名・ドイツ 4 名・シンガポール 3 名(6 名記載)

MD333 地区 5 名・MD334 地区 10 名・MD335 地区 13 名

シンガポールに関しては 3 名

(前半 MD337 にて 3 名→後半 MD330・1 名・MD333・2 名)

MD333 藤川委員長より冬季はキャンプをせずウェルカムレセプションのみと報告がされた。

MD334 石本委員長よりドイツに関して返答が無く困惑している状況報告がされた。

4. 夏季交換の情報共有及び最終調整

MD330 アメリカ応答無

フランス 5 名・オランダ 4 名で調整中。

※フランスでのキャンプ開催が 7 月中旬で日本の夏休みとズレているが過去の経緯について質問があった。

MD334 石本委員長が返答した。直接生徒の学校と話して個々に対応した経緯ありと説明された。

MD337 岡委員長より、現状昨今の大学は定期講習などからキャンプ参加は難しいと思われる説明がされた。

MD331 フィンランドより MD333 地区に連絡あり、12 月 1 日議長・ガバナー参加 MDYCE 会議開催承認後スイス・スペイン窓口交渉も併せて行う予定。

※MD334 石本委員長よりヨーロッパフォーラム参加によるフィンランド

10 名・スペイン 1 名・スイス 1 名の希望があることも踏まえて対応予定です。

MD332 春期タイの対応あり。1 名希望・1 名検討中。

テキサスとノルウェーに関して受け入れ可能との返事があり進めて行くとの事。12 月 11 日複合会議にて派遣と併せて調整する。

ニュージャージーに関しては例年仙台育英学園と約 20 名の交換留学事業を行っているので支援する形か、332C 地区にて検討調整中です。

MD333 キャンプを開催。人数については現在 25 名程度で考えており検討中。

MD334 イタリア 17 名派遣希望。ドイツ 5 名派遣・エストニア 2 名交換・ベルギーに関しては例年約 1、2 名交換を行っているので例年通りの予定。

MD331 にてスイスの対応はしてほしいと要望あり。

MD335 マレーシア 25 名・オーストラリア 10 名・ニュージーランド 4 名・

ミシガン2名・アルバータ2名・リトアニア1名・ルーマニア2名派遣予定。キャンプは335-Bにて4日間ほど開催したい。地区としてか複合としての開催かは検討中。

MD336 台湾25名キャンプ開催。ヨーロッパとアメリカは円安等物価価格などから台湾のみで対応。国際協会HPのキャンプ情報からの問い合わせは協議する。

MD337 シンガポール中心に対応。派遣は12名。アメリカなど希望があれば今後協議する。

※派遣締切に関しては基本1月末日から2月上旬で募集締切で統一する。

アプリケーションフォームについて

ヨーロッパ用をベース活用し日本統一書式として利用する。

※ただし、ヨーロッパ（キャンプ含）への派遣の場合は、すべて記入が必要。

フォームⅢのコロナウィルスに関する事項を削除する。

フォームⅤ 費用負担に関する部分も削除する。

※上記2点を反映した統一フォーム変更までは、既存のライオンズユースキャンプ交換の参加申込書の書式フォームを統一書式とし利用いただく。

5. 11月21日(火)開催 YCE 実務者会議について

MD337 地区のプロジェクトチーム作成の事故マニュアルや旅のしおりについて確認した。

増澤専務理事より上記の資料に関しては2022年6月及び各MD委員長に送付した(一社)日本ライオンズYCE資料(14P)2022年4月25日改定資料に関することなので再度確認するよう伝えられた。

上記YCE資料と交換生ハンドブックを併せ地区YCE委員と共有するよう説明された。

6. YCE 幹事旅行会社について

MD330(名鉄観光) MD331(JTB) MD332(日本旅行) MD333(ウィントラベル)

MD334(JTB) MD335(JTB) MD336(近畿ツーリスト岡山支店) MD337(コスモ観光)

7. その他

ID 番号附番について

例)イタリア3名 派遣の場合 IT1(国IT+人数1) IT1・IT2・IT3

受入れの場合 ITJ1(国IT+日本J+人数) ITJ1・ITJ2・ITJ3

8. 次回委員会開催日時

第4回YCE委員会 2024年1月16日 13:30～16:30 web開催

閉会挨拶

一般社団法人日本ライオンズ増澤専務理事より、課題が多いと思われませんが頻繁に連絡

を取り合い調整していただき資料なども現代版に修正していただき 8 複合で共通して利用促進出来れば良いと話され会議参加メンバーに労いの言葉で挨拶され閉会した。

以上。

議事録作成人

MD331YCE 委員長 鈴木善一

2023～2024 年度

第 3 回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会 議事録

※平和ポスター最終審査会の後に YCE 委員会を開催

日時：2023 年 12 月 4 日（月）15：00～17：00 懇親会 17：30～

場所：岡山商工会議所 4F「408 号室」

形式：ハイブリッド

出 欠

※敬称略

	役 職	氏 名	REAL	WEB
1	議長	澤 辰水	○	
2	副議長（A 地区ガバナー）	藤井 信英	○	
3	副議長（A 地区ガバナー）	山崎もとみ		○
4	幹事	三口 巖		○
5	会計	山崎 勝彦		○
6	世話人	三島 英揮	○	
7	委員長	蔵本 守雄	○	
8	副委員長	大和 博見	○	
9	A 地区委員長	馬場 信一	○	
10	B 地区委員長	小銭 和明	○	
11	C 地区委員長	鈴木 啓介	○	
12	D 地区委員長	林 昴史		○

司会進行：336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会委員長 蔵本 守雄

開会挨拶

336 複合地区ガバナー協議会議長

澤 辰水

審査員の先生 2 名に加わっていただき最終選考を行う。
先生方の意見をぜひ参考にさせていただきたい。

外部審査員紹介

池田美術事務所 代表 池田 靖嗣氏 画家 佐藤 智美氏

審 査

第 36 回国際平和ポスターコンテスト

テーマ：「夢見る勇気を」

「平和な世界」という夢をどのように実現するのか、子どもたちに表現してもらう。

参加クラブ数・応募総数

※応募総数は地区内全クラブ分 ※C 地区については未確認クラブがある為 12/4 以降訂正あり

	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	合計
参加クラブ数	82	19	45	43	189
応募総数	2,844	830	6,304	1,617	11,595

審査方法

WEB 参加の皆様へは事前に作品画像を送付、ハイブリッド形式による協議とする。

シカゴ国際本部送付用最優秀賞 1 点を選考。（※3 点は優秀賞として地区へ賞品とともに返送）

賞	氏名	学校名・学年	地区	クラブ
最優秀賞	山内 咲和	松山市立南第二中学校 1 年	A 地区	松山湯築 LC
	世界中に笑顔が広がり、みんなが平和に楽しく過ごせることを思いながら描きました。			
優秀賞	田中 涼	学校法人ノートルダム清心学園 清心中学校 1 年	B 地区	岡山東 LC
	「大谷ノート」のように色々と言葉で書き出しそれを参考にして絵を描きました。			
優秀賞	三上 明莉	広島市立祇園東中学校 1 年	C 地区	広島西北 LC
	青空が見れるのは、みんなが、平和を願っているからだと思う。過去の過ちを、二度とくり回さぬよう、強い意志をもって、平和をねがっていききたい。			
優秀賞	今村 朱里	下関市立文関小学校 6 年	D 地区	下関北 LC
	夢見ること、願うこと、勇気を持って行動すれば、世界は変わると信じるのが平和へつながると思います。			

総評・コメント	
	池田先生/佐藤先生

池田先生のコメント

最優秀作品は、画面がスッキリしている。塗りが丁寧で構成的にも中央に寄っていてバランスよく見える。

佐藤先生のコメント

最優秀作品は画面構成がしっかりとしており、コンクールで出品した際にも明るい感じが好印象に映るのではないかと判断し選考した。

審査員先生 2 名を含む審査会参加者数14名中8名の挙手があり、A地区 山内 咲和さんの作品を最優秀賞として選考した。

※A 地区山内 咲和さんの作品を 12/6 に国際本部へ発送

閉会挨拶	
336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会副委員長	大和 博見

引き続き YCE 委員会

- ・夏期交換（派遣・受入）について
台湾との交換についてガバナー協議会の承認が必要

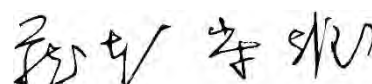
日本からの派遣生数と台湾からの受入生数を確認

台湾との交換については、来期(2024～2025年)夏期実施の予定であったが、準備が間に合わない為、再来期(2025～2026年)夏期実施を目指す。

1/25 第3回ガバナー協議会にて再来期実施に向け、来期予算の承認を得る。

議事録署名人：336 複合地区 YCE 委員会委員長
蔵本 守雄

承認年月日：2023 年 12 月 13 日





PEACE POSTER

2023-2024 年度

“夢見る勇気を”

ライオンズクラブ国際協会 国際平和ポスターコンテスト
336 複合地区最終審査会

審査結果

最優秀賞

336-A 地区 松山湯築 LC
山内 咲和



優秀賞

336-B 地区 岡山東 LC
田中 涼



優秀賞

336-C 地区 広島西北 LC
三上 明莉



優秀賞

336-D 地区 下関北 LC
今村 朱里



2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 報告書

日 時：2023年11月9日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）



藤谷委員長の開会あいさつの後、濱野、城阪各国際理事からのあいさつと国際理事会での活動について報告があった。田名部理事長からはあいさつの中で、ライオン誌検討委員会を社団側とライオン誌側の出席者数を同数にして開催予定であることと、今年度中に問題を解決したいとの意向が表明された。出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～9月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目

を確認した。9月はライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費は執行額8,527,444円（予算消化率26.8%）で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は3回発行完了時点で執行額1,320,948円（同19.0%）で、予算に沿って運営されていることを確認した。

●2022-23年度下半期補助金財務報告

前回委員会で確認した「理事会方針書 第16章ライオン誌」（2023年7月11日改訂版）に公式版ライオン誌に半期ごとの財務報告を求める記載があることについて、国際協会マーケティング部PR課のGiovanna Farmerコーディネーターに報告書提出の要否を再確認した結果、「今後は財務報告の提出は必要ない」と回答があったことが報告された。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年11月号（11月1日公開）出来

公開済みの11月号の出来を確認した。11月中の掲載予定で、まだ原稿や写真が届いてない「トピックス」欄の記事については、執筆者、担当者に協力していただき記事編集を進める。

●2023年12月号～24年2月号更新予定(案)

12月号～24年2月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。

●「取材リポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

3. 印刷版編集関係

●2023年秋号（10月25日発行／81,500部）出来

発行済みの秋号再校の出来を確認した。

●2024年冬号（1月25日発行）台割（案）

基本36ページと40ページの台割2案を確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：小児がん」。マニラ・フォーラムと、公益財団法人日本ライオンズの全国特別支援学校フットサル大会の記事を掲載するため、投稿欄のページを減らす案と、基本台割に4ページを追加する案（印刷費約17万円増）を検討。協議の結果、会員に伝えるべき情報がある場合はページ数を増やして発行すべきとの意見で一致し、40ページ建てとすることを決定した。

●2024年春号（4月25日発行）台割（案）

44ページの台割案を確認した。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：ミッション1.5」。SON冬季ナショナルゲーム（11月18日～24年2月25日）の記事は2ページを予定。10月開催の公式版編集者ウェビナーで2024年1月に国際本部からミッション1.5に関する記事8

ページ分と表紙の指定記事が配信されとの情報があったのを受け、8ページを追加する台割案（印刷費約32万円増）を検討した。国際本部からは過去にも「LCIFキャンペーン100」に関する指定記事掲載の要請があり、2022年3・4月号に記事10ページと表紙を掲載したが、特別記事掲載に対する追加補助金はなかった。春号のページ数については、印刷版出版予算との兼ね合いも確認しつつ、次回委員会で引き続き検討する。

印刷版の発行に関して城阪国際理事から「国際協会が公式版に義務づけているのは年2回の発行だが、日本語版は年4回発行している。ウェブ版を閲覧すればよいという会員もいるので、年4回のうち2回は、会員の希望を調べて必要ない会員には送付しないようにしてはどうか」との考えが示された。城阪国際理事の提案については、次回以降の委員会で検討する。

4 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2023年12月取材経費概算

12月に予定している取材2件の経費概算が提出され、承認した。

5. その他

- ライオン誌出版物

改訂作業中の『ライオンズクラブ入門』の再校を確認した。渕野委員から提案があった、広く用いられている「RC」「ZC」などの役職の略語を記載する案について検討。用語集の該当項目にカッコ書きで追加することにした。また、カタカナ2語以上の複合語における「・」の使用について協議。ライオン誌としてより読みやすい表記で統一を図る必要があるという意見でまとめ、具体的な基準については編集長の判断に委ねることにした。以上の点を含めた修正を来週中に終え、各委員による最終版の確認を経て、遅くとも11月末日までのPDF版公開に向けて準備を進める。

- ServannA（サバンナ）関係

荘ITアドバイザーから、国際協会の新しいデジタルツールLion Portalへの移行に伴うサバンナへの影響について、OSEAL調整事務局からはまだ具体的な連絡がないことが報告された。これに関連して濱野国際理事から、カイロ国際理事会でLion Portalの準備には遅れがあるものの今のところ1月1日の運用開始を目指しているとの報告を受けたこと、またテクノロジー部職員への確認でサバンナと本部システムとの連動は従来通りになるとの見通しを聞いたとの情報提供があった。濱野国際理事には引き続き情報収集に協力していただく。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用しているLINE、Facebookなどの公式SNSアカウントの登録状況を確認した。ウェブマガジン普及のツールとして友だち登録増加を図っているLINE公式アカウントは10月末で5461人。団編集長からは今年度内に倍増され1万人とする目標が改めて示された。

ウェブマガジン普及については社団の星野常務理事から、「これまでウェブマガジンを良いものにする努力がされてきたが、会員及び非会員へ浸透させるためのプロモーションが不足していたのではないか。もっと力強いメッセージでクラブに働きかけてPRしてはどうか」との提案があった。これに関連して藤谷委員長から各委員へ複合地区や地区でのウェブマガジンPR状況について質問があり、以下の報告があった。

「準地区、複合地区でPRしている。40～50代の会員でもウェブマガジンの存在は知っているが印刷版の方が手軽に読めるとの声が多く、印刷版のニーズも大きいと感じている」(332・藤谷委員長)

「所属準地区では、ライオン誌配信のウェブマガジン更新情報を、地区内クラブへのメールや地区のLINE公式アカウントで発信している。その際に編集長名も入れてもらうことで徐々に関心が高まっている」(335・団編集長)

「機会あるごとにLINE友だち登録を呼びかけている。所属準地区では今年度から地区誌をウェブ版のみにしたため、会員に浸透していくものと思う。今後、各複合地区PRマーケティング委員会からライオン誌LINE登録を呼びかけてもらうなど、協力してもらうことが有効ではないか」(334・増澤委員)

「以前から複合地区や地区の各種会議でライオン誌委員によるLINE公式アカウントの登録呼びかけが行われている」(336・上田委員)

「複合地区内の各地区ガバナーチームを通じて、LINE友だち登録を呼びかけるクラブ会長宛依頼文書の発信を依頼した。その情報がクラブ会員まで届いているか確認中。この依頼文書について周知徹底するために複合地区ガバナー協議会で報告する予定。会員全員が登録し、新会員が入会したら登録するという流れまで持っていきたい」(337・渕野委員)

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

12月8日(金) 14:00～16:00 第5回会議 (Zoom)

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議 報告書

日 時：2023年12月8日（金）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
欠席者：委員	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



藤谷委員長から開会あいさつがあり、各委員の協力により『ライオンズクラブ入門』の改訂PDF版が完成し、11月末にウェブマガジンに掲載して無償提供を開始したことが報告された。

続いて、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事からのあいさつと国際理事会の活動に関する報告があった。ライオン誌に関する事項として、鶴嶋国際理事からは「先日のミッション1.5の世界報告デーの中で日本の出足が遅いことが指摘され苦慮している。そんな中、ライオン誌を使って国際協会からの情報を会員に伝えてほしい」、濱野国際理事からは「日本の各クラブのアクティビティ報告が少ないことや、ミッション1.5セミナーなどへの地区リーダーの参加率が低いことなど、ライオンズに対する興味が薄れていることを危惧している。委員会としてウェブ及び印刷版のライオン誌の閲読率を上げてほしい」、城阪国際理事からは「前年度委員会からの引き継ぎ事項に関する事項を今期中に

解決するため、ライオン誌の資金の問題とライオン誌委員会の組織の問題について、ライオン誌公式版編集長である国際協会事務総長に来年早々にも確認して明快にしたい」とのコメントがあった。

田名部理事長からのあいさつでは、理事長としての活動と、12月13日にライオン誌検討委員会を国際理事3人、社団側3人、ライオン誌側3人の出席で開催するとの報告があり、「活発な議論をして今期中にライオン誌に関する問題を解決し、来年度からは編集とスムーズな発行に集中出来る委員会となるようにしたい」と述べた。

出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～10月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では10月初旬に社団の上半期賛助会費と併せてライオン誌送料を請求、月末までに8複合地区中5地区から入金があり、送料収入は5,170,398円（予算執行率33.4%）となった。支出の部では、10月は印刷版ライオン誌秋号が発行され、直接出版費は執行額16,431,484円（同51.7%）となった。毎月発行のデジタル版関連費は4回発行完了時点で1,859,128円（同26.7%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年12月号（12月1日公開）出来

公開済みの12月号の出来を確認した。

●2024年1、2月号更新予定（案）

1、2月号の主要コンテンツについて、前回承認した更新予定に沿って進行していることを確認した。

●2024年3月号更新予定（案）

3月号の主要コンテンツについて、「取材レポート」2件の活動概要や記事の内容、取材経費を含む更新予定が提出され承認した。

●「取材レポート」取材対象候補

3月号の取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティと、現時点で4月号の取材対象候補に挙げているアクティビティのリストを確認した。4月号については、各委員が対象候補となるクラブの活動の情報を提供し、次回委員会で検討する。

●ウェブマガジン・アクセス状況

Googleアナリティクスによる2023年31日～11月29日のウェブマガジン・アクセス状況の資料を確認した。資料から読み取れる情報として、団編集長から主に以下の説明があった。

- ユーザーの使用デバイスはスマートフォンが最多で、パソコンを大きく上回っている
- 直接サイトにアクセスしたユーザーは、メールやLINEで更新情報を発信する月初と、投稿リポートに関するLINEメッセージの送信時に大きく増加しており、メールやLINEによる情報発信が一定の効果を挙げている

この説明に関連して瀏野委員から、複合地区内でのライオン誌のLINE公式アカウント登録呼びかけについて、所属準地区内のメンバーからLINEの安全面に疑問を呈されたとの報告があり、LINE活用について出席者から意見を求めた。「地区やクラブで登録を推進しており、そのまま続けていきたい」「必要不可欠なツールであり、推進すべき」「地区の連絡網でも使っている。漏洩を心配するような重要な情報は扱わないので問題ない」などLINE活用を推進すべきとの意見が多く、他にも「便利な一方、情報漏洩を心配する人がいるのは確かで、登録するかどうかは個々の判断に任せればよい」「情報発信には有効で、ライオン誌上で登録を呼びかけるだけでなく地区を通じた働きかけも必要。Facebookなど幅広いツールを活用して読者を増やすべき」「LINEに頼り過ぎるのではなく、いろいろな方法を併用した方がよい」といった指摘もあった。ライオン誌としては当面LINE登録を推進しながら、他のツールも積極的に活用していく。

3. 印刷版編集関係

●2024年冬号(1月25日発行)台割(案)

前回委員会において、基本36ページの編成にマニラ・フォーラムと公益財団法人日本ライオンズの事業に関する記事を追加するため、40ページに増ページ(約17万円増)することを決めたが、「取材リポート」に掲載を予定している記事のうちユニバーサルスポーツに関連する取材記事2本をベースにした特集を組むことにより、増ページをせずに必要な記事を収めるよう変更を加えた修正台割案(36ページ)が提出され、確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：みんなで楽しむスポーツ」。

●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

前回委員会で継続審議とした44ページの台割案を確認。来年1月に国際協会からミッション1.5の記事8ページ分の指定記事が配信される予定で、これを掲載するために8ページを増やした場合、印刷費は約32万円増となる。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：小児がん」。

冬号のページ数を前回決めた40ページから36ページに変更することに関して、鶴嶋国際理事から「本来伝えるべき情報が全て伝えられるならばよ

いが、それを伝えずにページ数を減らして経費節減を図るということであれば、ページ数ではなく取材や外注費の方を削るべき」という意見が出され、団編集長から「印刷版の取材記事はウェブマガジン用に取材した記事を流用しており、冬号と春号掲載予定の取材の一部はクラブの協力を得て既に進んでいる」と説明があった。これについて鶴嶋国際理事から「今から変えられないのであれば、それについて反対する気はないが、今年度第1回委員会で、私から取材や外注費の見直しを提言したにもかかわらず、ページ数を減らして経費を削減するのは本末転倒ではないか」と疑問が呈され、団編集長は「冬号は必要な記事が36ページに収まるように修正したもの」「予算は36ページの印刷費で立てている。春号は前回委員会にも44ページの台割を提出したが、8ページ増で印刷費が増えることについて承認を得たい」と述べた。鶴嶋国際理事からは「冬号を前回決めた40ページから4ページ減らしても中身が充実しているのであればよい」との発言があった。

冬号は36ページ、春号は44ページの台割で進める。

●今後の印刷版発行と配布方法

前回委員会で城阪国際理事から提案された「国際協会が公式版に義務づけているのは年2回の発行だが、日本語版は年4回発行している。ウェブ版を閲覧すればよいという会員もいるので、年4回のうち2回は、会員の希望を調べて必要ない会員には送付しないようにしてはどうか」との提案について、団編集長から印刷版発行回数と、2回を希望者のみに頒布することに関する自身の考えをまとめた資料が提示され、以下の説明があった。

- 発行回数を減らすメリット：「印刷関係経費の削減」「将来国際協会からの補助金がなくなる準備」「クラブ（会員）が負担する発送費の削減」「デジタル化推進の起爆剤になり得る」
- 発行回数を減らすデメリット：「情報格差が生じる」「従来の情報量を維持するためにページ数を増やす以外に方法がない」「合併前に積み立てられていた基金の取り崩しの説明が必要」「クラブのモチベーションが下がる恐れがある」「会員間の情報共有が難しくなる」
- 希望者のみに頒布する件：「費用をどのように請求・集金するかの手続きが複雑になり、事務負担が増大する」「発行部数が減れば印刷費や送料の単価が上昇し、希望者の負担が増す恐れがある」

これらを踏まえ、印刷版年4回を維持すること、可能であれば以前のように年6回の発行とすることが、会員サービスという観点からは望ましいのではないかと、この団編集長の考えが示された。その上で各委員に対して、この件に関する自身の意見をまとめると同時に周囲の会員の声を集め、次回委員会で発表するよう求めた。

城阪国際理事からは、提案内容に関して誤解のないよう、次の2点の補足説明があった。

- 発行回数を減らす提案ではなく、年2回分について印刷物を希望しない人には発送しないという提案であり、年4回、立派なライオン誌を発行してもらえればよい
- 送料はクラブの実費負担となっているが、2回分の発送を希望しない人に関してもこれまで通りの費用負担をお願いし、収入は変わらないようにする。それにより浮いた発送事務費などの費用は、ライオン誌の充実に使ってはどうか

この議案については、次回委員会で各委員の意見を聞いて検討する。

4 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2024年2月取材経費概算

2月に予定している取材2件の経費概算が提出され、確認した。経費概算が提出された2件について、鶴嶋国際理事から「クラブに連絡済みのため取材を止めることが出来ない案件であるか」との確認があり、団編集長から「クラブへの打診は進めており、止めるとすればその理由の説明が必要になる」との見解が示された。鶴嶋国際理事からは「既にクラブに打診した後に委員会で検討、承認するのではなく、委員会で複数の候補に絞ってからクラブに連絡して取材対象を決めるべき」「そもそも経費をかけて取材することが必要かを検討した方がよい。委員や地元の写真が得意なメンバーなどそれなりの人からデータ提供を受けて編集することも出来る」「1回でも2回でも取材を減らせば、印刷版の年4回発行を維持するために違った経費の使い方が出来る」との指摘があった。これについて社団の星野常務理事から「決められた枠選ぶのではなく、早めに多くの候補を挙げて、その中から委員あるいはメンバーに取材を依頼するもの、投稿を依頼するもの、外注取材が必要なものを整理してはどうか」という意見が出された。以後の3月取材分からは、委員会で候補を絞って対象を決めるようにする。提出された2月の取材2件の経費概算は承認。

5. その他

●ライオン誌出版物

11月中の完了を目処に改訂を進めていたライオン誌日本語版委員会編集のライオンズスクール『ライオンズクラブ入門』は、前回委員会で検討した点と、委員会後にOSEAL調整事務局から通知された「割引会員」の「特典会員」への変更にかかわる修正を反映して作業を終了し、11月28日

にウェブマガジン「情報資料」欄にPDFデータを掲載して無償配布を開始した。

●ServannA（サバンナ）関係

国際協会の報告システムが現行のMyLCIから新しいデジタルツールLion Portalへ移行するのに伴うサバンナへの影響について、OSEAL調整事務局の佐子マーズ事務局長から、現時点でもまだLion Portalについて詳しい情報がないことと、また「サバンナ運用におけるデータ共有に関しては、具体的に現行のどのシステム作業が必要なのか、確認事項をピンポイントで示してもらえれば担当部署に問い合わせる」という連絡があったことが報告された。サバンナのシステム管理会社・JPインターナショナルに協力してもらい、質問内容を検討する。

また荘ITアドバイザーから指摘があった、新しい会員種別「特典会員」をサバンナでも把握出来るようにする必要性については、Lion Portal移行に伴うサバンナの変更が明らかになってから具体的に検討する。

議案審議を終了した後、鶴嶋国際理事から各委員に対して「個人的には印刷版の年4回発行を維持すべきという意見だが、いろいろな意見がある。各地区で何回発行が必要か調査を行い、その結果を基に発行回数を決め、それに必要な費用を割り出してもらいたい」との要望が出された。これを受け、藤谷委員長は「ライオン誌発行回数については、クラブや地区へアンケートを行う必要があると私も考えていた。各委員には2月頃までのアンケート実施に協力いただきたい」と応じた。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

- 1月10日（水） 14:30～17:00 第5回会議（日本ライオンズ事務所 集合／Zoom併用）
- 2月 6日（火） 14:00～16:00 第6回会議（Zoom）
- 3月 4日（月） 14:00～16:00 第7回会議（Zoom）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2024年1月10日（水）14:30～17:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室（Zoom併用）

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズ㊤）
国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズ㊤）
※Zoom 国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズ㊤）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ㊤）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ㊤）
※Zoom 委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ㊤）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ㊤）
委員	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ㊤）
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズ㊤）
委員	browse 二 三世（337複合地区／大分ライオンズ㊤）
一般社団法人理事長	田名部智之（青森県・八戸ライオンズ㊤）
一般社団法人常務理事	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズ㊤）
PRマーケティング副委員長	
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズ㊤）
欠席者：委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズ㊤）



藤谷委員長から年頭のあいさつと年明けに発生した能登半島地震への見舞いの言葉が述べられた後、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事からあいさつがあり、能登半島地震に関連して「この災害をどう乗り切っていくかを考えると共に、日本の準地区であまり活用されていないLCIF防災準備交付金に関する理解を広め、今後の災害に備えられるような方法を検討してほしい」（鶴嶋国際理事）、「ライオン誌のコミュニケーションツールとしての役割に加え、被災者や支援に取り組むクラブを応援するという目線で編集に取り組むことで、明るく前向きな誌面が提供出来るのではないか」（濱野国際理事）との要望があった。続く田名部理事長のあいさつでは、昨年12月13日に開催されたライオン誌検討委員会について「現在のすばらしいライオン誌を継続して発行出来るように、社団としてどのように取り組むかをしっかりと検討している」と説明があった。

出席者確認の後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～11月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では、10月初旬に八複合地区へ請求したライオン誌送料が全地区から入金され、執行額7,809,232円（予算執行率50.4%）となった。支出の部では、11月は印刷版ライオン誌の発行がなかったため直接出版費は前月からほぼ変動はなく、執行額16,460,557円（同51.8%）となった。毎月発行のデジタル版関連費は5回発行完了時点で2,397,468円（同34.4%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

●ライオン誌検討委員会（2023年12月13日）報告

社団の田名部理事長から、12月13日に開催された第2回ライオン誌検討委員会の要点をまとめた資料が提出され、確認した。田名部理事長からは、昨年度、国際理事から社団へ提出された要望事項その他の懸案事項に関する検討内容に関する説明と、第3回委員会を開催して検討を続ける予定であるとの報告があった。

2. ウェブマガジン編集関係

●2024年1月号（1月1日公開）出来

公開済みの1月号の出来を確認した。

●2024年2、3月号更新予定（案）

2、3月号の主要コンテンツについて、前回承認した更新予定に沿って進行していることを確認した。

●2024年4月号更新予定（案）

4月号の主要コンテンツと既に決定している執筆担当者を確認した。

●「取材レポート」取材対象候補

4月号以降の取材対象候補を選考するため、今年度初めに実施した「クラブアンケート」で収集した情報から、2～6月に予定されているアクティビティのリストを確認。2月実施予定の活動2件を取材候補に選んだ。3月以降の候補については、委員会後に編集長が各委員の意見を集めて絞り込むことにした。

3. 印刷版編集関係

●2024年冬号（1月25日発行）台割

前回委員会で決定した36ページの台割に沿って編集した記事を確認した。「国際理事だより：濱野国際理事」「編集室：馬場委員、三枝委員」「特集：みんなで楽しむスポーツ」。能登半島地震の発生を受けて、ウェブマガジン告知の掲載を予定していた表2に被災者への見舞い文を入れる他、「トピックス」の一部記事を地震関連の記事に差し替え、LCIF大災害

援助交付金に関する情報などを報じる。

●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

基本36ページに8ページを追加した44ページの台割案を確認した。国際協会から配信される「ミッション1.5」の表紙と指定記事8ページを掲載。「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集：小児がん」。能登半島地震の被災地や支援活動に関する記事は、334-D地区から発信される情報などを収集してウェブマガジンに掲載していき、春号にはそれらを集約した記事を掲載する。各委員が入手した被災地支援などの情報は、随時編集部伝える。地震関連の記事を追加するための台割変更は次回委員会で検討する。

●今後の印刷版発行と配布方法

第4回委員会で城阪国際理事から出された「希望する会員には国際協会が公式版に義務づける年2回のみの発送とし、残る2回は発送しないようにする」との提案に対し、前回第5回委員会で団編集長から印刷版発行回数を減らした場合のメリット・デメリットと、希望者への発送を年2回にした場合の問題点を記した資料が提示された。これに関して、出席者から以下の意見(発言順・要旨)が出された。

- 「個々の会員に情報を伝えることがライオン誌の大きな目的である。現在の発行回数を減らすことなく、クラブが災害支援を含めた奉仕活動について考える際に役立てるようにしたい」(337・渕野委員)
- 「ライオン誌は新しい奉仕活動の参考となり、クラブが切磋琢磨してモチベーションを高めることに貢献している。全国の会員が情報を共有する唯一のツールでもあり、年4回発行は必要」(336・上田委員)
- 「印刷版は現在のままでよいが、ウェブ版のアクセスを増やす方策も考えるべき。会員減少の中、経費をかけずに良いものを作ること、委員が労力をかけて努力することも検討してはどうか」(334・増澤委員)
- 「会員個人に発送することで例会に出ない会員をつなぐ役割を果たしている。ただ、社会の流れは印刷物を減らす方向にあり、ウェブか印刷版かの希望を取って発行することも一つの方法」(333・三枝委員)
- 「現時点ではまだウェブより印刷物の方が見やすいという会員が多いが、今後印刷版は希望者だけに送付する方法も考えていてはどうか」(332・藤谷委員長)
- 「日本の会員の平均年齢を考えれば、ウェブへ移行するのはまだ無理がある。誌面やウェブを通して会員以外にもライオンズを知らしめるツールとなっており、慎重に考える必要がある」(330・田中委員)
- 「印刷版もウェブ版もどちらも必要。ウェブで見るので印刷版は2回だけでよいという会員には、費用負担はそのままに発送しないようにすればよい」(城阪国際理事)

- 「印刷版の年4回発行は必要と考えるが、会費収入の増加が見通せない現状を見据えて、経費を抑えつつ必要な情報を届ける努力をしなければ、発行を継続するのは難しくなる」(鶴嶋国際理事)
- 「現状では毎月のウェブ版と年4回の印刷版が必要。ウェブ版の利用者を増やさない限り印刷版をなくすことは出来ない。数値目標を立て、ウェブ版の浸透を図る方策を検討すべき」(濱野国際理事)
- 「印刷版かウェブ版かは情報伝達の手段であり、いずれにしろ毎月取材をして年12回の情報発信を維持しなければならない。今後は会員向けだけでなく、非会員に対する発信にも注力すべき」(田名部理事長)
- 「現時点では発行回数は年4回が妥当。ウェブマガジンを普及させるために、ウェブ版になじみにくい古参会員に若い会員からLINE登録の方法を教えてもらうなどの工夫で登録増を図りたい」(星野常務理事)

これらの意見を踏まえつつ、今後更に検討を続ける。

4 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

5. その他

●ServannA（サバンナ）関係

前回委員会の決定を受けて、国際協会の新しいデジタルツールLion Portal への移行に伴うサバンナへの影響について本部へ問い合わせる質問内容を、サバンナのシステム管理会社・JPインターナショナルの協力を得て検討したことが、荘ITアドバイザーから報告された。OSEAL調整事務局を通じて、これをIT部担当者へ問い合わせる。

荘ITアドバイザーからはまた、1月1日に施行された「特典会員」種別をサバンナに反映させるには機能追加が必要との説明があり、費用の見積もりを取って追加の可否を検討してはどうかとの助言を受けた。システムを管理するJPインターナショナルに見積もりを依頼する。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

2月 7日(水) 14:00～16:00 第7回会議 (Zoom)

3月 4日(月) 14:00～16:00 第8回会議 (Zoom)

「第3回国際大会委員会（Web）」議事要録（案）

作成人：MD336 徳永 修

開催日：2023年10月10日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	つるしま 鶴嶋 こうじ 浩二	（札幌中島 LC）
2023-25 国際理事	しろさか 城阪 かつき 勝喜	（大阪港 LC）【欠席】
2023-25 国際理事	はまの 濱野 まさし 雅司	（岩槻 LC）

一般社団法人日本ライオンズ

副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331 協議会議長

まつうら 松浦 じゅんいち 淳一 （岩見沢はまなす LC）

専務理事/国際大会委員会（補）

ますざわ 増澤 よしはる 義治 （諏訪湖 LC）

国際大会委員会

委員長

よしむら 吉村 ひろよし 弘吉 （和歌山 LC）

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	いが 伊賀 のりお 則夫	（東京葵 LC）
MD331 委員長	ほんじょ 本所 みつお 光男	（室蘭東 LC）
MD332 委員長	むらかみ 村上 たかし 孝	（水沢中央 LC）
MD333 委員長	おかの 岡野 よしお 良男	（土浦環 LC）
MD334 委員長	おおやま 大山 やすのり 恭範	（一宮 LC）
MD335 委員長	えぐさ 江草 おさふみ 長史	（和田山 LC）
MD336 委員長	とくなが 徳永 おきむ 修	（尾道 LC）
MD337 委員長	そやま 曾山 すみひろ 純廣	（霧島みらい LC）

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長	くるまだ 車田 かずえ 一恵	（霞ヶ浦 LC）
MD333-E 国際大会副委員長	よしの 藤野 まさひろ 将寛	（霞ヶ浦 LC）

以上

■開会宣言 国際大会委員長 吉村弘吉

■出席者確認、別紙

■進行について 進行表に基づいて行う

■議事録作成人指名 MD 3 3 6 徳永 修

■議案

1、ご挨拶、国際大会委員会の報告 国際理事／LCI 大会委員 鶴嶋 浩二

先週、LCI から連絡があったと思うが、前回の会議で取り決めた、公認 TC の業者を決めてそこを主にするという形は変えずに進める。

各 MD 等からの質問は、国際大会委員会を通してとりまとめ、オセアル調整事務局へ一本化する方向で進める。

3 人の国際理事がカイロでの国際理事会へ明日出発する。前回委員会で競技した主要ホテルについては委員会にてしっかりと伝えていく。日本の利益となるように動いていく。

2、OSEAL フォーラム（マニラ）最新事情の確認

各登録者数の確認（9/30 日）（資料 A）

2023、10、6 現在 全日本登録者 目標 2190 人に対し、1412 人

国際会長晩餐会目標 300 人に対し、260 人

ゴルフ 12 人

最善を尽くしていただいた。

公認 TC の予想によると、実際の参加者は

MD330:150 人、MD331:60 人、MD332:25 人、MD333:80 人、MD334:140 人、

MD335:220 人、MD336:30 人、MD337:40 人。合計 745 人

OSEAL フォーラムのスケジュールについて、今回国際理事候補者が出ないので日本レセプションは、開催しない。

（資料 D3）の 2 ページ

OSEAL フォーラムでは公認 TC は関係ないので、OSEAL フォーラムにおいては各 MD、準地区、グループ、個人など参加方法については自由。

ただしフォーラム期間中は、勉強会などがあるので、ツアーは控えてほしい。

特に MD 議長、各ガバナーは、3、4、5 日、朝 8 時 30 分からの会議に必ず出席を要請

8人の大会委員会委員は11月4日国際会長晩餐会(19:00~22:30)30分前に集合し、受付にて、参加者の確認、テーブルへの案内をお願いする、

3、第106回メルボルン国際大会、最新事情の確認

10月2日の公認TCとの打ち合わせ会議(資料B1)

各MDの公認TCが確定した。

公認業者の資格要件(資料B2)の報告書を議長を通して、提出してほしい

8MDの代表窓口は、MD335公認TCのJTB。

公認TCで相談した結果、メルボルンのホテルは、(ホテル情報資料参照)

グランドハイアットメルボルン、ザ ウェスティン メルボルン、シェラトンメルボルンの3ホテルをメインのホテルとし、約700室を押さえない。

予備として、インターコンチネンタル、メルボルンマリオット。

公認TCは、LCIよりIDを取得し、各MDのホテルを押さえないにかかる、

過不足の調整するため、早めの登録に取り掛かってほしい。

・鶴嶋国際理事

グランドハイアットはシングルの部屋、ザ ウェスティン メルボルンはツインなので使い分けができる。この二つは近いので路面電車が使えて便利、好立地。

3つのホテル内で、各MDや準地区などの集いなど、企画できるように、またリーズナブルへ利用できるよう交渉をしていただくよう公認TCへお願いをしている。

公認ツアー以外のメンバーは、3つのホテルの中から、部屋の振り分けをする。

・各メンバーから質問を聞くが、特になし。全員一致でホテルについて承認される。

・鶴嶋国際理事

国際理事会で、日本のホテルを伝え、3つのホテルで700部屋を押さえ、それを回るシャトルバスを確保するようにする。ホテルのデポジットが発生する事情等もあり、早めの人数の取りまとめをお願いしたい。

(資料B4)

・公認TCからの要請、質問、

公認TCは一年任期と決まっているが、各準地区で独自にTCを決めている場合があり、規定で定められている旅行ライセンス一種を持っていない業者もある。非公認の業者が勝手にツアーを出した結果、公認TCが手配した部屋が利用されないなどの問題もある。非

公認の業者が止めてはいけない場所にバスを止めたりなどして LCI でも大きな問題となっている。

ホテルは MD 公認 TC からの仕入れというのが原則である。

特にメルボルンでは日本としてまとまって部屋を確保するように L C I へ交渉することもあり、利用を徹底していきたい。準地区の業者へは公認 T C が押さえた部屋を買っていただき、部屋を埋めていくようにする。各複合単位で準地区の委員長・T C との打ち合わせが必要かと思われる。

・各質問

MD336 徳永氏

個人や、クラブで登録する場合は自由で良いのか？かなりの数が自分で手配をしている。

吉村委員長より→準地区の場合・グループでツアーを組む場合、部屋は J T B が押さえた部屋を購入し利用してほしい。

- ・メルボルンの参加人数の予想、7 0 0 部屋なので、1000 人くらいか。
- ・ホテルの料金表示について質問があり、オーストラリアドルでの表記であることが確認された。

MD334 大山氏

JTB など公認 TC は、個人予約などの倍くらい高いという声もある。

MD331 本所氏

国際大会はホテルが決まっているので、経験上、個人も公認 T C もそんなに大差ないと思う。

ボストンの場合も最終的にはあまり差がなかった。

MD335 江草氏

今回は、早いスタートなので、問題は少ないと思う

吉村委員長

各 MD は、準地区や、クラブなどと、話し合いをしてほしい。公認 TC 申請の書式出来ているので確定して早く取りかかって欲しい。

MD334 大山氏

マニラ、登録が10月15日まで延長になっている(19,000円)人数を増やしてほしい。

MD334は人数が増えたので、国際協会へ申し込む

MD335 江草氏

パレードのユニフォームについて、いままでは国際理事候補者を出すMDが中心となっていたが、今回は国際理事候補者が出ないので、どこがどのように決めるのか？

MD335では、日本のアニメとのコラボを企画しては、意見があった。

南半球なのであの時期は寒いし、トレーナーなどはどうかという意見もあった。パレード開始時間なども考慮すべき。

吉村委員長

パレードについては12月もしくは来年早々から議論が必要だと思っている。そもそもパレードをするのかどうか、少人数(MDで人数をそろえる)でやるか、など含めて次回委員会で検討したい。

・濱野国際理事

多くの方にご参加いただくことが一番の成功。国際大会なので、たくさんの参加の国からの参加者に合うことができれば、モチベーションも上がる。日本では団体での参加がやりやすいと思うがいろいろな事情もあり、公認TC、グループ、個人バランスをとって欲しい。

パレードは、日本は大所帯になり真ん中がだれる傾向もある。個人的な意見だが、少数精鋭でいいパフォーマンスをする、そしてそれをみんなで応援するのも良いとおもう。

・吉村委員長

パレードについて、OSEALフォーラムの後にみなさんの意見を聞きたい。

・増澤専務理事

登録キットについての説明。

(キットの画像を元に説明) 60th OSEAL FORUM BAG

大きさ、重さ、中身、紹介、一個700グラム

・吉村委員長

例えば、MD331 だと、登録 313 人、実際の参加は 60 人、登録料を頂いている以上、約 2 50 個持ち帰らなければならない。半端な重量、カサではない。輸送の場合は高額な送料・関税等が発生した例もある。公認 TC に頼む、送るなどよく検討することが必要。

・松浦副委員長

8 つの MD それぞれ登録方法が違うが、それぞれの複合でキットの持ち帰りについては対策をしておいてほしい。

・濱野国際理事

これから国際理事会参加のためエジプトへ行き、ケニアを廻って 23 日帰国予定。

ぜひ国際理事へ質問等ぶつけていただきたい。直接答えられることができなくても、LCI へつなぐことができるので、困ったことはどんどん質問してほしい。

・吉村委員長

次回の日程 11 月 29 日午後、Zoom で開催の予定

・松浦副委員長

若い人は、インターネットで旅行予約する人も多い。

メルボルンへの参加について今回は初の試みとなるが、700 室を確保してもらうこと、シャトルバスのことなど本部へ交渉していく事項がいろいろとある。早い登録と、部屋は公認 TC を通じて手配したホテルへ宿泊をいただくよう、MD 大会員長へは皆様へアナウンスを頂くよう、宜しくお願いしたい。

終了

一般社団法人日本ライオンズ

第4回国際大会委員会(Web)議事録

作成者；MD335 江草長史

開催日；2023年11月29日

*出席者

国際理事

2022~2024 国際理事/LCI 大会委員会

鶴嶋浩二（札幌中島 LC）

2023~2025 国際理事

城阪勝喜（大阪港 LC）欠席

2023~2025 国際理事

濱野雅司（岩槻 LC）

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

田名部智之（八戸 LC）

副理事長

池原 堅（福山久松 LC）

専務理事/国際大会委員会(補)

増澤義治（諏訪湖 LC）欠席

国際大会委員会

委員長

吉村弘吉（和歌山 LC）

副委員長/副理事長

松浦淳一（岩見沢はまなす LC）

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長

伊賀則夫（東京葵 LC）

MD331 委員長

本所光男（室蘭東 LC）

MD332 委員長

村上 孝（水沢中央 LC）

MD333 委員長

岡野良男（土浦環 LC）

MD334 委員長

大山恭範（一宮 LC）

MD335 委員長

江草長史（和田山 LC）

MD336 委員長

徳永 修（尾道 LC）

MD337 委員長

曾山純廣（霧島みらい LC）

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長

車田一恵（霞ヶ浦 LC）

MD333-E 国際大会副委員長

藤野将寛（霞ヶ浦 LC）

公認 TC 代表

MD335 公認 TC/株式会社 JTB

沼間章作

***開会宣言**

13 時 30 分 吉村弘吉国際大会委員長より開会が宣言された

***ごあいさつ**

■一般社団法人日本ライオンズ 理事長 L 田名部智之

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

先ほど福岡から戻りましたが、専務理事を福岡においてきましたので、本日は欠席いたします。

本年度は丁寧な運営をやっていこうと全国を回っているところで、今回は MD337 を訪問して 5 名の地区ガバナーと話し合いをして質問やら、社団の方針を説明し、ご理解をいただいた。残すは MD330 のみとなりました。

本日は国際大会委員会ということで、各複合地区より活発な意見を出していただき、来る『メルボルン国際大会』の成功へ向けて、しっかり準備をしていただきたい。

本日はよろしくお願いします。

■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長/国際大会副委員長 L 松浦淳一

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

本日は少し角度を変えてご報告いたします。

MD331 では鶴嶋国際理事を先頭に来る『札幌大会』に向けて動き出していますが、ホテル確保に苦勞しています。

HQ 及び地区ガバナー用 1500 室はなんとか確保出来たが、残り 3500 室の確保に向け努力しているが、7 年後の民間企業のホテルの確約は難しいのが現状である。

しかし、いろんな制約がある中 MD331 が一丸となり努力しておりますので、

今後も『札幌大会』成功へ向けご支援よろしくお願いいたします。

***出席者確認及び進行について**

出席者名簿を確認、事前送付の次第を確認

***議事録作成人の指名**

MD335 国際大会委員長 江草長史が指名される

■鶴嶋国際理事ごあいさつ

札幌が大変なことになっています。

今回は今までのように JTB さんなどの業者さんに頼らず、自分たちの手でやっていますが、7 年後のホテルの確保が非常に難しく、特にオーナー様と現場との連絡ができていなくて、現場サイドで話をしていく上で、7 年後の状況がわからない中で部屋数を確保することが非常に難しい。

今まで立候補を予定していた地区が立候補を断念した理由がホテルの問題であったと聞いて納得ができた。

カイロでの国際理事会で日本からの要望をまとめ、皆さんにご理解をいただいた。

また、協会を通すことで協会にマージンが入るというあらぬ噂が流れ困惑している。

■濱野国際理事ごあいさつ

こんにちは。

本日は国際理事という立場で参加しています。

先日のマニラ・オセアルフォーラムでは、お力添えをいただきありがとうございました。

また、この委員会の中でしっかりと討論することが札幌大会へとつながっていくのでよろしく願いいたします。

相手の立場と参加する立場の両方わかるのが今の日本なので、しっかりと協議していただきたい。

【議案】

1. OSEAL フォーラムについて

(1) マニラ大会報告（資料 A）

(2) マニラ大会の反省（資料 B-1）

- ・開会式など式の途中で帰ってしまう→（提案）最後にパネル前で写真撮影する企画
- ・日本は他の国と比べて元気がない
- ・場所取りに問題がある
- ・国際会長晩餐会でチケットの不備があった
- ・国際会長晩餐会で段取りが悪い（お国柄）、通訳がない
- ・登録キットの不備(中身が揃ってない、参加証明書やガイドブック等)
- ・観光を入れる入れないの問題
- ・フォーラム開催日程数が厳しい（地区・MD 会議調整等）
- ・エージェントの進行管理が悪かった
- ・国際会長晩餐会会場の音響が悪い

「まとめ」 鶴嶋国際理事

- ・会議内容がひどい（定足数、決議内容を発表しない）
→会議時山田 PIP の進言に対応無かった
- ・ID 同士の話し合いが出来ていない
- ・日本からのセミナー参加が少ない
- ・開会式への参加者が少ない（‘25 札幌大会での対応）
- ・大会記念誌掲載不備については日本の意見・要望を伝えた
- ・従来 2 月開催のステアリング会議は、6 月開催に変更（次期担当者が出席する）
また参加人数は「4 名+LCIF 理事」と改定、旅費は出ないため 1～2 名参加で検討して
いただきたい→次期理事会への引継事項

田名部理事長からの補足

- ・大会記念誌は挨拶分等入れた訂正版を再発行していただくことで話が進んでいる
（部数はおそらく 100～200 部）
- ・チェジュフォーラム報告書についても実は未発行であり、配布されていない

(3) 第 61 回パタヤ大会【2024 年 11 月 14 日（木）～11 月 17 日（日）タイ・パタヤ】

日程の説明（資料 C）

2. メルボルン国際大会について【2024 年 6 月 21 日（金）～25 日（火）】

(1) 公認 TC の件

- ・公認 TC 代表沼間氏より説明（資料 D-1、グループ登録手順、資料 D-2）
- ・まだすべての複合が公認をとれていないため動けない
- ・日本からのホテルの確保ができない
- ・グランドハイアットメルボルンを中心に 600 室を確保する
→12/10 時点で公認 TC とは進捗確認を行い、その状況によっては鶴嶋国際理事へ報告

(2) 日程の説明

- ・代議員会（日本の代議員のための投票説明）
→6 月 22 日（投票前）夕方辺り（2 時間程度）を想定、次回会議で再検討
- ・なるべくお金のかからないようにする
- ・準備（席順、登録、受付等）については吉村委員長指名により、
331 本所委員、332 村上委員に開催案を練っていただき次回会議で提案していただく

(3) インターナショナルパレードの件

- ・今までと同じように全員参加 or MD ごとの参加、又は参加者を絞る

- ・準備の担当はどこがするのか？
- ・次回会議に各 MD の意見を集約する
- ・本年度は国際理事候補者がいないため日本全体で準備する
- ・ユニフォームの種類及びデザインはどうするか？
→コンペ形式で行なう（公認業者に依頼）
- ・種類は冬ということを考え法被は採用しない→ポロシャツ、トレーナー、スタジャン・・・
- ・アニメ等、著作権のかかるものは使用料がかかる
- ・札幌大会のPR活動としてロゴをデザインする
- ・ピンバッチは喜んでもらえるようなデザインにする
- ・小旗を持つと一体感があるように見える工夫になる→ツールの重要性
→バレードの参加は決定だが、体制（全員参加 or MD 毎…）、ユニフォームの提案については各自 MD に持ち帰り宿題とし、次回会議で意見交換する

*** 開会宣言およびご挨拶**

■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 L池原堅

国際大会およびフォーラム開催は大事な大会のため結束してできるだけ多くの方に行っていただきたいが、パターンがほとんど同じのため、若い会員たちが参加しようという気が無い。開催地では若い方が参加したいと思う仕組みを時間をかけて作り大改革していただきたいと期待する

3. 次回開催日

2024 年 1 月 18 日（木）13 時 30 分～16 時 00 分

以上

336複合地区会員増強報告＜2023-2024年度＞

地 区	目 標	開始数字	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増 減	女性比率
336-A	総会員数純増 135名	5,028	19	-9	-3	21	20	-29							19	学生 3 22.85%
	女性会員数 60名	1,164	-5	-13	-1	14	5	-11							-11	
	女性会員目標 25.0%	23.22%	22.96%	22.75%	22.74%	22.92%	22.93%	22.85%							-0.37%	
	支部結成目標 9支部	11	0	0	0	0	0	1							1	
	家族会員数 0名	737	-9	-18	0	6	1	-7							-27	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	135	0	0	0	0	0	0							0	
336-B	総会員数純増 10名	2,354	30	7	4	0	5	-19							27	学生 6 15.83%
	女性会員数 0名	371	-2	3	4	0	2	-1							6	
	女性会員目標 %	15.76%	15.48%	15.55%	15.69%	15.70%	15.75%	15.83%							0.07%	
	支部結成目標 3支部	14	0	0	0	0	0	0							0	
	家族会員数 0名	193	-1	0	-1	-1	0	1							-2	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	83	0	0	0	0	0	1							1	
336-C	総会員数純増 50名	2,787	33	27	-5	2	8	-42							23	学生4 17.51%
	女性会員数 65名	502	1	3	-3	2	0	-13							-10	
	女性会員目標 20.0 %	18.01%	17.83%	17.77%	17.73%	17.79%	17.74%	17.51%							-0.50%	
	支部結成目標 11支部	17	0	1	0	0	0	0							1	
	家族会員数 7名	309	2	0	-1	0	-2	-12							-13	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	79	0	0	0	0	0	0							0	
336-D	総会員数純増 30名	2,606	24	-5	-7	3	3	-8							10	12.04%
	女性会員数 5名	322	0	0	0	0	-3	-4							-7	
	女性会員目標 %	12.28%	12.24%	12.16%	12.08%	12.29%	12.16%	12.04%							-0.24%	
	支部結成目標 5支部	7	0	0	0	0	0	0							0	
	家族会員数 0名	101	0	0	0	0	0	0							0	
	新クラブ結成目標 1ｸﾗﾌﾞ	84	0	0	0	0	0	0							0	

			2023-2024年度実績										会員動向、一人当たり寄付、100ドル寄付参加状況					
地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	当月合計*	前年同月	前年同月比	今期累計*	前年同期	前年同期比	今期目標	達成率	企業寄付 件数	レガシー・ソサエティ 寄付誓約者数**	当月新会員	当月会員	子会員を除く	一人当たり寄付額	\$100寄付 参加数	\$100寄付 参加率
330-A	東京	阿部 かな子	23,564	12,299	192%	257,566	239,604	107%	440,000	58.5%		1	175	5,314	4,371	58.93	299	6.8%
330-B	神奈川・山梨・東京	石田 真一	12,992	10,321	126%	352,932	416,516	85%	500,000	70.6%		2	119	3,452	3,158	111.76	737	23.3%
330-C	埼玉	田中 雄一	19,607	3,497	561%	104,287	61,038	171%	180,000	57.9%	5	1	59	1,652	1,459	71.48	63	4.3%
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	田中 雄一	56,163	26,117	215%	714,786	717,158	100%	1,120,000	63.8%	5	4	353	10,418	8,988	79.53	1,099	12.2%
331-A	道央	設楽 幸子	20,000	11,633	172%	173,377	146,202	119%	250,000	69.4%		3	100	2,394	2,100	82.56	268	12.8%
331-B	道北・道東	藤原 回向	17,924	10,472	171%	48,173	33,486	144%	150,000	32.1%			52	2,046	1,781	27.05	87	4.9%
331-C	道南	渡部 義男	17,909	7,134	251%	65,522	50,477	130%	120,000	54.6%			74	1,516	1,280	51.19	134	10.5%
MD331計	331MDC 及川 隆人	松浦 淳一	55,833	29,239	191%	287,072	230,165	125%	520,000	55.2%	0	3	226	5,956	5,161	55.62	489	9.5%
332-A	青森	大矢 進	9,161	8,260	111%	49,433	33,479	148%	120,000	41.2%			73	1,984	1,656	29.85	33	2.0%
332-B	岩手	高橋 寛	17,622	20,960	84%	47,491	52,601	90%	90,000	52.8%			97	1,840	1,236	38.42	45	3.6%
332-C	宮城	渡邊 俊弥	2,127	1,805	118%	56,815	44,555	128%	90,000	63.1%			58	1,545	1,196	47.50	62	5.2%
332-D	福島	門馬 弘	5,241	4,755	110%	84,247	58,916	143%	120,000	70.2%	1	1	94	2,189	1,746	48.25	83	4.8%
332-E	山形	西村 公夫	4,100	3,000	137%	32,052	33,315	96%	90,000	35.6%			69	1,663	1,412	22.70	23	1.6%
332-F	秋田	石垣 勝康	229	261	88%	14,232	18,434	77%	70,000	20.3%			26	1,251	956	14.89	6	0.6%
MD332計	332MDC 佐野 宏美	栗村 安弘	38,481	39,041	99%	284,268	241,320	118%	580,000	49.0%	1	1	417	10,472	8,202	34.66	252	3.1%
333-A	新潟	鈴木 壽男	31,502	10,211	309%	87,416	47,077	186%	220,000	39.7%			78	2,690	2,465	35.46	245	9.9%
333-B	栃木	後藤 一男	10,840	1,000	1084%	59,556	35,420	168%	130,000	45.8%			22	1,419	1,029	57.88	94	9.1%
333-C	千葉	北野 淳子	5,621	18,793	30%	121,728	147,180	83%	250,000	48.7%			102	2,702	2,354	51.71	140	5.9%
333-D	群馬	福田 勝巳	15,921	8,487	188%	55,352	55,090	100%	150,000	36.9%			68	1,799	1,420	38.98	72	5.1%
333-E	茨城	齊藤 正行	146,974	17,150	857%	202,735	295,220	69%	500,000	40.5%		3	134	4,005	2,933	69.12	742	25.3%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	星野 勝美	210,857	55,640	379%	526,788	579,988	91%	1,250,000	42.1%	0	3	404	12,615	10,201	51.64	1,293	12.7%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		267,020	81,758	327%	1,241,573	1,297,145	96%	2,370,000	52.4%	5	7	757	23,033	19,189	64.70	2,392	12.5%
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		94,314	68,280	138%	571,340	471,485	121%	1,100,000	51.9%	1	4	643	16,428	13,363	42.76	741	5.5%
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		361,334	150,037	241%	1,812,913	1,768,630	103%	3,470,000	52.2%	6	11	1,400	39,461	32,552	55.69	3,133	9.6%
334-A	愛知	木野村 好己	120,031	62,586	192%	309,682	459,766	67%	1,100,000	28.2%		2	210	5,164	3,707	83.54	379	10.2%
334-B	岐阜・三重	川嶋 富士雄	35,018	7,142	490%	199,674	181,590	110%	340,000	58.7%		1	117	3,558	2,638	75.69	454	17.2%
334-C	静岡	前田 磨	21,777	3,260	668%	156,573	83,691	187%	300,000	52.2%	11		105	2,844	2,573	60.85	139	5.4%
334-D	富山・石川・福井	小出 進	47,371	18,800	252%	188,483	267,311	71%	400,000	47.1%		1	132	4,501	3,330	56.60	341	10.2%
334-E	長野	喜多 友一	13,315	1,000	1331%	69,638	111,481	62%	260,000	26.8%			72	2,240	1,717	40.56	331	19.3%
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	戸祭 宏樹	237,512	92,788	256%	924,049	1,103,838	84%	2,400,000	38.5%	11	4	636	18,307	13,965	66.17	1,644	11.8%
335-A	兵庫東(神戸)	山中 健	5,424	11,831	46%	90,297	60,269	150%	200,000	45.1%			57	1,699	1,613	55.98	179	11.1%
335-B	大阪・和歌山	西尾 良典	127,393	38,852	328%	455,858	397,195	115%	900,000	50.7%	3		217	6,473	4,957	91.96	1,742	35.1%
335-C	滋賀・京都・奈良	山本 忍	91,636	31,501	291%	343,452	357,365	96%	550,000	62.4%	2	3	190	3,628	3,335	102.98	1,504	45.1%
335-D	兵庫西(姫路)	廣田 晃一	33,689	14,842	227%	184,025	112,963	163%	200,000	92.0%	39		52	1,588	1,427	128.96	447	31.3%
MD335計	335MDC 針田 一朗	中谷 豊重	258,142	97,026	266%	1,083,635	927,792	117%	1,850,000	58.6%	44	3	516	13,388	11,332	95.63	3,872	34.2%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	山崎 勝彦	57,734	22,862	253%	265,192	212,664	125%	400,000	66.3%		2	206	5,076	4,358	60.85	641	14.7%
336-B	岡山・鳥取	藤井 信英	14,731	2,300	640%	88,983	38,466	231%	200,000	44.5%			94	2,400	2,207	40.32	83	3.8%
336-C	広島	三口 巖	23,807	4,620	515%	227,689	135,933	168%	250,000	91.1%			115	2,852	2,544	89.50	224	8.8%
336-D	山口・島根	山崎 もとみ	39,154	16,013	245%	116,876	71,614	163%	200,000	58.4%			100	2,624	2,519	46.40	90	3.6%
MD336計	336MDC 高岡 英治	澤 辰水	135,425	45,795	296%	698,739	458,677	152%	1,050,000	66.5%	0	2	515	12,952	11,628	60.09	1,038	8.9%
337-A	福岡・長崎	中村 巧	58,990	21,100	280%	223,943	198,743	113%	500,000	44.8%	2	3	164	4,561	3,767	59.45	130	3.5%
337-B	大分・宮崎	下堂園 一将	15,561	20,862	75%	49,389	69,512	71%	200,000	24.7%			83	2,175	1,924	25.67	49	2.5%
337-C	佐賀・長崎	古賀 義行	28,841	2,240	1288%	64,275	88,719	72%	230,000	27.9%			105	3,041	2,221	28.94	32	1.4%
337-D	鹿児島・沖縄	新里 正雄	7,940	1,860	427%	111,587	56,492	198%	200,000	55.8%		1	84	2,177	1,889	59.07	87	4.6%
337-E	熊本	伊藤 竜彦	14,332	3,419	419%	45,972	41,391	111%	150,000	30.6%			52	1,684	1,452	31.66	54	3.7%
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	新里 正雄	125,665	49,481	254%	495,166	454,857	109%	1,280,000	38.7%	2	4	488	13,638	11,253	44.00	352	3.1%
MD334・335計	334・335 SAL 夏 有民		495,654	189,814	261%	2,007,684	2,031,630	99%	4,250,000	47.2%	55	7	1,152	31,695	25,297	79.36	5,516	21.8%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		261,090	95,276	274%	1,193,906	913,534	131%	2,330,000	51.2%	2	6	1,003	26,590	22,881	52.18	1,390	6.1%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		756,743	285,090	265%	3,201,590	2,945,164	109%	6,580,000	48.7%	57	13	2,155	58,285	48,178	66.45	6,906	14.3%
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		1,118,078	435,128	257%	5,014,503	4,713,795	106%	10,050,000	49.9%	63	24	3,555	97,746	80,730	62.11	10,039	12.4%

*レガシー・ソサエティ寄付（遺贈寄付）誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含みます。

**レガシー・ソサエティ寄付を誓約された寄付者数です。誓約を実行された寄付の件数とは異なります。

			2023-2024年度実績							会員動向（12月データ）、一人当たり寄付			
地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	12月 速報値	1月1日～15日 速報値	今期累計*	今期目標	達成率	企業寄付 件数	レガシー・ソサエティ 寄付誓約者数**	当月新会員	当月会員	子会員を除く	一人当たり寄付額
330-A	東京	阿部 かな子	28,526	2,000	288,092	440,000	65.5%		1	187	5,175	4,112	70.06
330-B	神奈川・山梨・東京	石田 真一	12,856	2,740	368,528	500,000	73.7%		2	126	3,435	3,141	117.33
330-C	埼玉	田中 雄一	13,820	0	118,107	180,000	65.6%	7	1	60	1,630	1,446	81.68
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	田中 雄一	55,201	4,740	774,727	1,120,000	69.2%	7	4	373	10,240	8,699	89.06
331-A	道央	設楽 幸子	29,392	11,000	213,769	250,000	85.5%	3	3	109	2,380	2,089	102.33
331-B	道北・道東	藤原 回向	10,495	13,748	72,416	150,000	48.3%			57	2,011	1,753	41.31
331-C	道南	渡部 義男	9,269	3,660	78,451	120,000	65.4%			83	1,507	1,272	61.68
MD331計	331MDC 及川 隆人	松浦 淳一	59,156	28,408	374,636	520,000	72.0%	3	3	249	5,898	5,114	73.26
332-A	青森	大矢 進	5,700	860	55,993	120,000	46.7%			79	1,977	1,649	33.96
332-B	岩手	高橋 寛	4,061	0	51,552	90,000	57.3%			106	1,833	1,236	41.71
332-C	宮城	渡邊 俊弥	2,508	2,260	61,583	90,000	68.4%			63	1,540	1,197	51.45
332-D	福島	門馬 弘	3,984	7,201	95,431	120,000	79.5%	1	1	101	2,183	1,741	54.81
332-E	山形	西村 公夫	1,706	2,226	35,984	90,000	40.0%			70	1,640	1,391	25.87
332-F	秋田	石垣 勝康	2,000	0	16,232	70,000	23.2%			29	1,231	940	17.27
MD332計	332MDC 佐野 宏美	栗村 安弘	19,959	12,547	316,774	580,000	54.6%	1	1	448	10,404	8,154	38.85
333-A	新潟	鈴木 壽男	8,170	7,027	102,613	220,000	46.6%			93	2,674	2,451	41.87
333-B	栃木	後藤 一男	7,304	3,000	69,860	130,000	53.7%			23	1,396	1,016	68.76
333-C	千葉	北野 淳子	4,943	1,259	127,930	250,000	51.2%			112	2,686	2,343	54.60
333-D	群馬	福田 勝巳	3,900	5,143	64,395	150,000	42.9%			73	1,790	1,412	45.61
333-E	茨城	齊藤 正行	30,126	9,401	242,261	500,000	48.5%		3	138	3,930	2,888	83.89
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	星野 勝美	54,442	25,830	607,060	1,250,000	48.6%	0	3	439	12,476	10,110	60.05
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		109,644	30,569	1,381,787	2,370,000	58.3%	7	7	812	22,716	18,809	73.46
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		79,116	40,955	691,411	1,100,000	62.9%	4	4	697	16,302	13,268	52.11
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		188,759	71,525	2,073,197	3,470,000	59.7%	11	11	1,509	39,018	32,077	64.63
334-A	愛知	木野村 好己	94,906	3,800	408,388	1,100,000	37.1%		2	228	5,114	3,681	110.94
334-B	岐阜・三重	川嶋 富士雄	8,110	2,320	210,104	340,000	61.8%		1	137	3,537	2,619	80.22
334-C	静岡	前田 磨	24,813	12,500	193,887	300,000	64.6%	13		126	2,839	2,570	75.44
334-D	富山・石川・福井	小出 進	32,341	2,000	222,824	400,000	55.7%		1	139	4,408	3,313	67.26
334-E	長野	喜多 友一	14,517	6,372	90,526	260,000	34.8%			76	2,144	1,654	54.73
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	戸祭 宏樹	174,687	26,992	1,125,728	2,400,000	46.9%	13	4	706	18,042	13,837	81.36
335-A	兵庫東(神戸)	山中 健	8,817	5,480	104,594	200,000	52.3%			70	1,678	1,595	65.58
335-B	大阪・和歌山	西尾 良典	95,812	20,777	572,447	900,000	63.6%	6		237	6,308	4,847	118.10
335-C	滋賀・京都・奈良	山本 忍	88,688	51,435	483,575	550,000	87.9%	5	3	210	3,612	3,322	145.57
335-D	兵庫西(姫路)	廣田 晃一	18,553	1,000	203,578	200,000	101.8%	39		53	1,570	1,412	144.18
MD335計	335MDC 針田 一朗	中谷 豊重	211,870	78,692	1,374,197	1,850,000	74.3%	50	3	570	13,168	11,176	122.96
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	山崎 勝彦	36,715	11,843	313,749	400,000	78.4%		2	225	5,047	4,337	72.34
336-B	岡山・鳥取	藤井 信英	6,215	9,000	104,198	200,000	52.1%			101	2,381	2,188	47.62
336-C	広島	三口 巖	8,005	6,070	241,764	250,000	96.7%			122	2,810	2,515	96.13
336-D	山口・島根	山崎 もとみ	13,981	8,678	139,535	200,000	69.8%			107	2,616	2,511	55.57
MD336計	336MDC 高岡 英治	澤 辰水	64,916	35,591	799,247	1,050,000	76.1%	0	2	555	12,854	11,551	69.19
337-A	福岡・長崎	中村 巧	49,863	4,240	278,046	500,000	55.6%	2	3	174	4,483	3,721	74.72
337-B	大分・宮崎	下堂蘭 一将	4,977	3,740	58,106	200,000	29.1%			90	2,160	1,911	30.41
337-C	佐賀・長崎	古賀 義行	26,133	1,000	91,408	230,000	39.7%			110	3,017	2,205	41.46
337-D	鹿児島・沖縄	新里 正雄	17,839	30,480	159,907	200,000	80.0%		1	87	2,100	1,838	87.00
337-E	熊本	伊藤 竜彦	3,268	2,303	51,543	150,000	34.4%			58	1,680	1,450	35.55
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	新里 正雄	102,080	41,763	639,009	1,280,000	49.9%	2	4	519	13,440	11,125	57.44
MD334・335計	334・335 SAL 夏 有民		386,557	105,684	2,499,925	4,250,000	58.8%	63	7	1,276	31,210	25,013	99.95
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		166,996	77,355	1,438,256	2,330,000	61.7%	2	6	1,074	26,294	22,676	63.43
西日本計	西日本AL 松岡 勲		553,552	183,039	3,938,181	6,580,000	59.9%	65	13	2,350	57,504	47,689	82.58
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		742,312	254,563	6,011,378	10,050,000	59.8%	76	24	3,859	96,522	79,766	75.36

*レガシー・ソサエティ寄付（遺贈寄付）誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含みます。

**レガシー・ソサエティ寄付を誓約された寄付者数です。誓約を実行された寄付の件数とは異なります。

令和４年度_ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和４年７月～12月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
受付者数	381人	3,420人	4,433人	4,219人	3,078人	2,473人	4,783人	6,046人	3,352人	32,185人
献血者数 -①	331人	3,122人	3,848人	3,728人	2,630人	2,196人	4,232人	5,547人	3,094人	28,728人
協力日数（稼働数）-②※	6.5	59.0	66.5	65.0	47.1	48.4	67.0	89.5	79.0	528.0
１日当たりの献血者数（①/②）	50.9人	52.9人	57.9人	57.4人	55.8人	45.4人	63.2人	62.人	39.2人	54.4人
参加協力クラブ数（実数）	10団体	32団体	38団体	42団体	41団体	25団体	31団体	43団体	28団体	290団体

※協力日数（稼働数）について：終日の会場は１稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	11,490人	10,864人	39,663人	58,604人	25,479人	13,431人	18,648人	27,036人	14,679人	219,894人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	2.9%	28.7%	9.7%	6.4%	10.3%	16.4%	22.7%	20.5%	21.1%	13.1%

令和４年７月～12月における総献血者数

	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	合計
７月	1,897	1,702	6,146	9,847	4,237	2,354	3,182	4,260	2,505	36,130
８月	1,889	1,803	6,369	9,767	4,118	2,053	3,099	4,132	2,273	35,503
９月	1,861	1,798	6,261	9,794	3,931	2,220	2,960	4,594	2,211	35,630
10月	2,022	1,890	6,997	10,060	4,692	2,356	3,181	4,935	2,575	38,708
11月	1,862	1,797	6,664	9,359	4,141	2,170	3,039	4,688	2,599	36,319
12月	1,959	1,874	7,226	9,777	4,360	2,278	3,187	4,427	2,516	37,604
	11,490	10,864	39,663	58,604	25,479	13,431	18,648	27,036	14,679	219,894

令和５年度_ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和５年７月～12月】

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
受付者数	295人	3,153人	2,917人	4,680人	3,085人	2,493人	4,389人	4,062人	3,335人	28,409人
献血者数 -①	255人	2,824人	2,502人	4,027人	2,717人	2,188人	3,902人	3,762人	3,141人	25,318人
協力日数（稼働数）-②※	8.0	60.0	44.9	66.0	47.0	45.2	54.0	71.7	77.5	474.3
１日当たりの献血者数（①/②）	31.9人	47.1人	55.7人	61.人	57.8人	48.4人	72.3人	52.5人	40.5人	53.4人
参加協力クラブ数（実数）	10団体	30団体	36団体	44団体	45団体	24団体	31団体	37団体	28団体	285団体

※協力日数（稼働数）について：終日の会場は１稼働、半日の会場は0.5稼働など、献血時間に応じて稼働数が変わります。

対象期間における 各県総献血者数	11,300人	10,539人	38,640人	58,493人	23,991人	13,165人	18,239人	26,415人	14,487人	215,269人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	2.3%	26.8%	6.5%	6.9%	11.3%	16.6%	21.4%	14.2%	21.7%	11.8%

令和５年７月～12月における中四国内各県の献血者数

令和５年	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	合計
７月	1,789	1,658	6,410	9,559	3,684	2,090	2,939	4,401	2,338	34,868
８月	1,856	1,784	6,521	9,512	3,788	2,143	3,140	4,432	2,279	35,455
９月	1,894	1,753	6,196	9,568	4,000	2,074	3,063	4,346	2,382	35,276
10月	1,945	1,798	6,313	9,737	4,145	2,185	2,958	4,315	2,442	35,838
11月	1,857	1,726	6,197	9,900	4,039	2,255	3,033	4,399	2,450	35,856
12月	1,959	1,820	7,003	10,217	4,335	2,418	3,106	4,522	2,596	37,976
計	11,300	10,539	38,640	58,493	23,991	13,165	18,239	26,415	14,487	215,269